

第89回 産業観光推進懇談会（AMIC）

次 第

日 時：令和2年7月8日（水）
14：00～16：00
場 所：名古屋商工会議所
5階 ABC 会議室

<懇談事項>

- (1) 「新型コロナウイルスへの今後の対応」について

<報告事項>

- (1) AMIC研修会（WEBセミナー）の実施報告について
- (2) 「旅まつり名古屋2020〔3月14・15日（土・日）〕」中止について
- (3) 「ものづくり文化再発見！ウォーキング〔5月31日（日）〕」延期について
- (4) パンフレット「名古屋周辺の産業博物館」のリニューアルについて
- (5) その他

<今後の予定（案）>

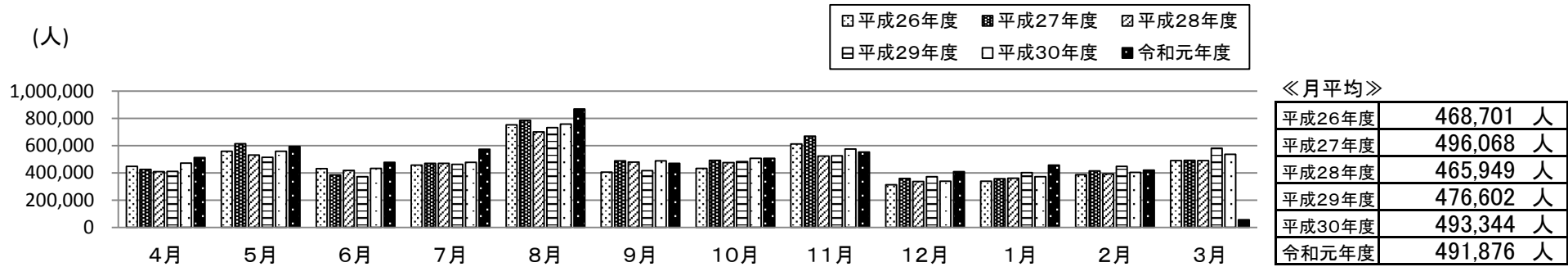
2020年11月	研修会（観光施設またはWEBセミナー）
2021年1月	懇談会（於：名古屋商工会議所 会議室）

以 上

令和元年度 入館者数について

博物館入館者数推移

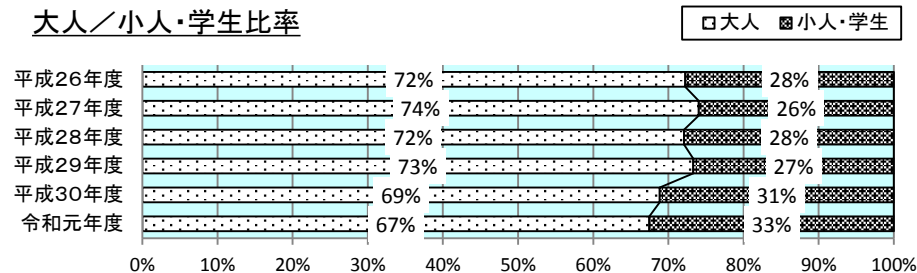
29館合計(全30館からヤマザキマザック工作機械博物館を除く)



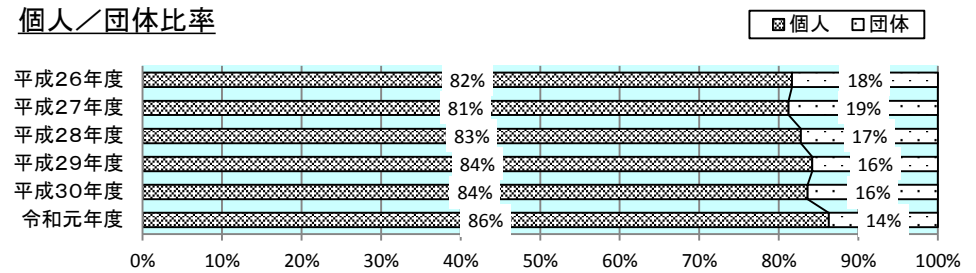
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	447,125	558,098	430,975	456,395	752,312	404,866	433,307	613,062	312,299	338,922	386,135	490,919	5,624,415
平成27年度	426,190	613,987	384,202	470,271	786,598	488,057	492,310	668,865	359,302	357,170	413,821	492,038	5,952,811
平成28年度	408,788	531,539	418,703	470,465	701,728	479,843	476,214	524,102	336,116	360,386	392,574	490,924	5,591,382
平成29年度	410,204	514,818	371,431	462,434	733,026	416,593	483,459	525,689	372,502	401,653	447,276	580,144	5,719,229
平成30年度	472,780	558,954	432,370	477,256	758,839	488,793	506,657	575,332	339,247	371,364	402,735	535,804	5,920,131
令和元年度	512,344	594,451	477,602	573,680	869,571	470,939	507,223	553,046	408,557	458,021	420,730	56,351	5,902,515
対前年比	8.4%	6.4%	10.5%	20.2%	14.6%	-3.7%	0.1%	-3.9%	20.4%	23.3%	4.5%	-89.5%	-0.3%

大人／小人・学生比率



個人／団体比率



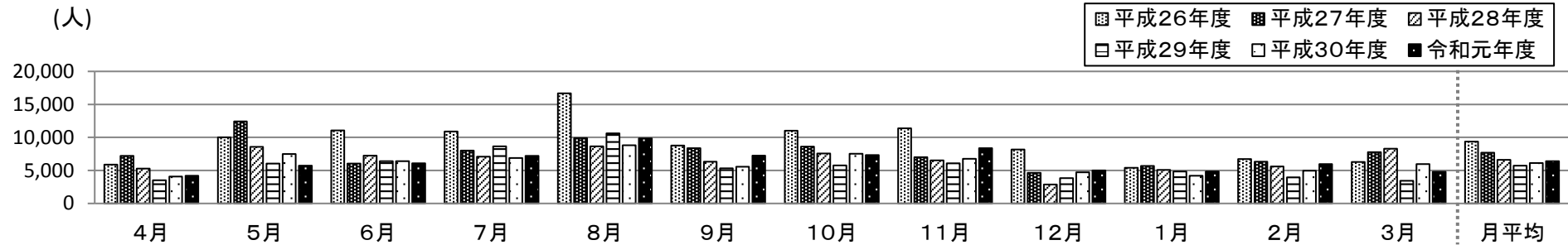
<令和元年度コメント>

・令和元年度の「ヤマザキマザック工作機械博物館」を除く、29館合計入館者数は**5,902,515人**で、対前年度比増減率は**-0.3%(17,616人)**の減少。
(※前年度合計はあいち航空ミュージアムを除く。)

プラス(館) … 愛知県陶磁美術館、あま市七宝焼アートヴィレッジ、有松・鳴海絞会館、国際デザインセンター、豊田市和紙のふるさと、名古屋市博物館、ネックス・プラザ、名鉄資料館

マイナス(館) … INAXライブミュージアム、カクキュー八丁味噌(八丁味噌の郷)、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、瀬戸蔵ミュージアム、高浜市やきもの里かわら美術館、でんきの科学館、東邦ガス ガスエネルギー館、徳川美術館、トヨタ会館、トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館、内藤記念くすり博物館、名古屋市科学館、ノリタケの森、博物館明治村、プラザミュージアム、MIZKAN MUSEUM、三菱UFJ銀行貨幣資料館、盛田味の館、リニア・鉄道館

・新型コロナウイルス感染症の影響で、2月以降に臨時休館とした施設が多数。詳細は各館の資料参照。



総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	5,900	10,018	11,076	10,899	16,681	8,790	11,015	11,382	8,183	5,415	6,734	6,288	112,381
平成27年度	7,214	12,443	6,031	8,008	9,902	8,375	8,630	7,019	4,656	5,683	6,332	7,752	92,045
平成28年度	5,293	8,563	7,244	7,105	8,666	6,329	7,563	6,542	2,860	5,076	5,611	8,307	79,159
平成29年度	3,533	6,028	6,416	8,646	10,607	5,316	5,772	6,076	3,829	4,845	3,967	3,428	68,463
平成30年度	4,094	7,483	6,404	6,898	8,815	5,546	7,545	6,784	4,732	4,209	4,962	5,972	73,444
令和元年度	4,209	5,725	6,071	7,195	9,867	7,247	7,344	8,360	4,984	4,856	5,981	4,800	76,639
対前年比	3%	-23%	-5%	4%	12%	31%	-3%	23%	5%	15%	21%	-20%	4%

令和元年度に開催したイベント

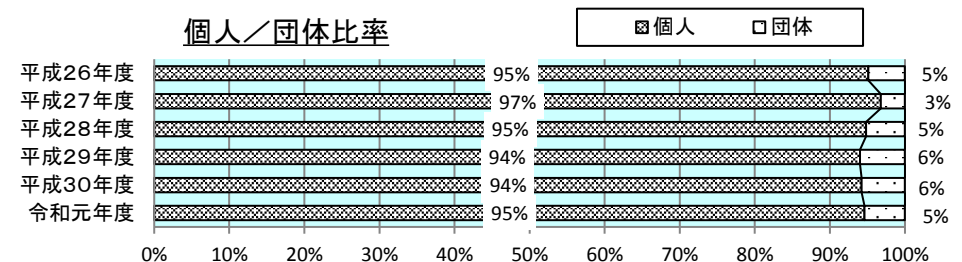
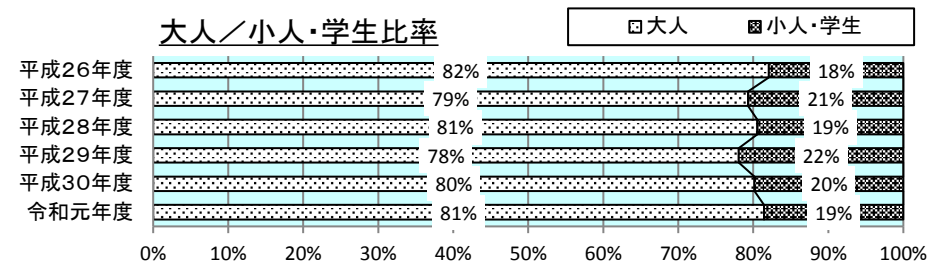
<特別企画展・企画展>

- 「黄金の地と南の海から-町田市立博物館所蔵 東南アジア陶磁コレクション-」(4/13~6/16)
- 「インダス文明への道 -栗田功彩文土器コレクションを中心に-」(6/29~8/18)
- 「京都国立近代美術館所蔵 川勝コレクション 鐘溪窯 陶工・河井寛次郎展」(8/24~10/20)
- 「愛知やきものセレクション「木村定三コレクション文人趣味と煎茶」(1/11~3/22)
- 「愛知やきものセレクション「木村定三コレクション文人趣味と煎茶」(1/11~3/22)

<主要イベント>

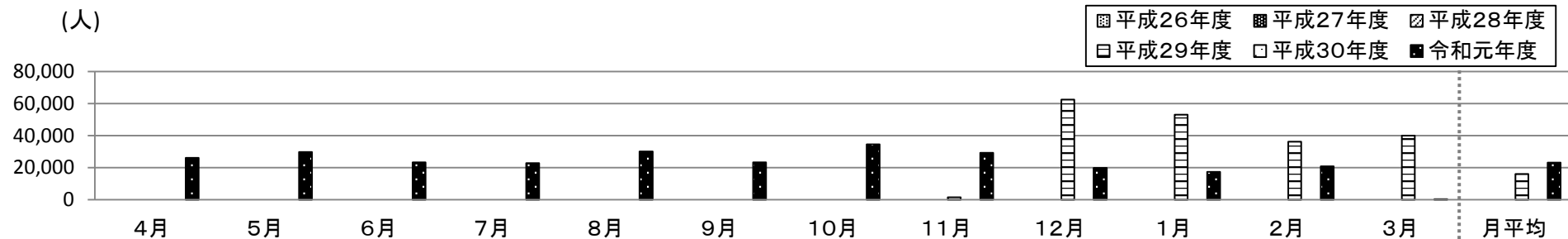
常設展に合わせたワークショップ 年4回

- 「加藤清之先生特別造形講座」(8/6,7,27,28)
- 「愛陶茶会」(5/19, 11/23) 児童センターとの連携事業(5/12, 5/18, 6/2) 「古窯焼成」(9月~11月) 「陶芸教室」(11月~2月) キッズ生け花チャレンジ！(1/18, 2/9)



<令和元年度コメント>

- ・元年度の入館者総数は76,639人で、30年度の73,444人に比べ、4.4%、3,195人の増となった。3月期に新型コロナウイルス感染症の影響により、観覧者数、陶芸館利用者数とも前年より下回ったものの、年間数では、2年連続で増員となった。なお、大人と小人・学生、あるいは個人と団体の内訳については、ここ数年大きな変化は見られない。
- ・企画展ごとに、関連の講演会、ワークショップ、ギャラリートークを行う他、出張陶芸、ふれあい陶芸教室などのイベントの開催、教育普及事業、大学パートナーシップ事業などを実施した。



総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
令和元年度	26,237	29,827	23,341	22,826	30,176	23,408	34,574	29,349	19,890	17,359	20,880	327	278,194
対前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和元年度に開催したイベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春休みイベント (～4/7)	GWイベント (4/27～5/6)		七夕笹飾り ドローン体験・ プログラミング教室 (6/29～7/7)	夏休みイベント (7/20～9/1)	パネル展トーク ショー (8/12)	FDA実機展示 (6/27)	ナイトミュージアム (5/17.18)	ナイトミュージアム (10/13)	特別企画展「ドクターヘリ 携イベント(10/6) 展」(10/19～12/22)	特別企画展「日本の翼YS-11展」 (1/11～6/15)	FDA実機 展示(12/14)	特別企画展トークショー (1/18)
			フォトコンテスト入賞作品展 示(4/27～6/24)		ドローンを飛ばしてみよう (10/12)			シルバースピットファイア 連携イベント(10/13.14)	2周年記念トークショー (12/1)			YS-11シミュレーター五つ星チャレンジ (1/11～6/15)
			フランス航空教育団来日100 周年パネル展 (～5/13)		零戦初飛行80周年パネル展 (7/15～10/14)				グライダーって知ってる? (10/13～19)			クリスマス、年末年始イベント(12/21～1/13)

<令和元年度コメント>

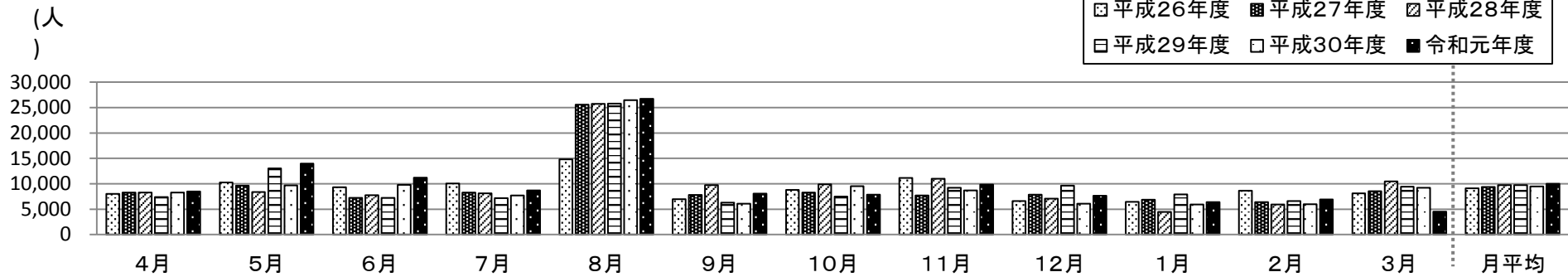
- 2019年度の来場者数は約28万人で、前年比70%
- ・2017年11月30日のオープンから1年以上が経過したことにより、「新規開業効果」が減少
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館(3月2日～)、団体予約のキャンセル(2月中旬以降ほぼ全て)

○年間を通じて切れ目なくイベントを開催(大小合わせて50以上)

- ・県営名古屋空港内という立地の強みを生かすイベント、空港内事業者と連携したイベントを多数開催
- ・2か月以上の期間を会期とする特別企画展(ドクターヘリ展、YS-11展)の開催

博物館入館者数推移

あま市七宝焼アートヴィレッジ

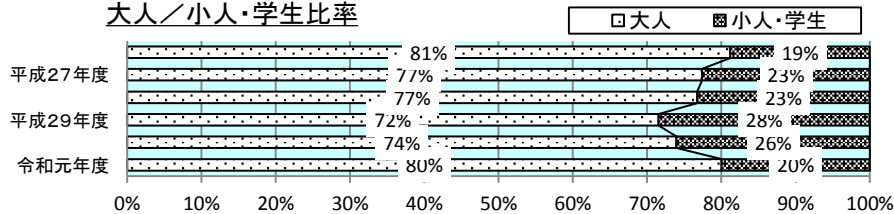


総入館者数

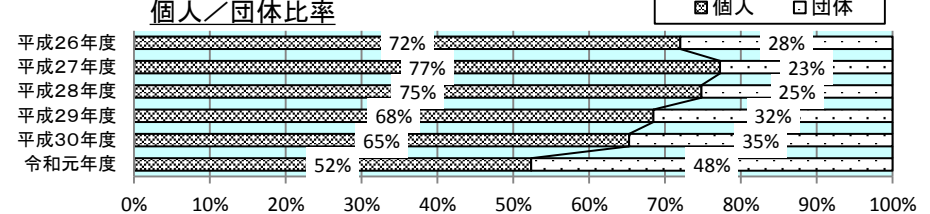
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	8,021	10,255	9,311	10,042	14,790	6,983	8,776	11,127	6,591	6,445	8,640	8,119	121,270
平成27年度	8,293	9,612	7,242	8,271	25,552	7,806	8,282	7,689	7,878	6,879	6,385	8,518	109,100
平成28年度	8,291	8,394	7,735	8,139	25,749	9,741	9,868	10,987	7,080	4,447	5,924	10,492	112,407
平成29年度	7,361	13,053	7,223	7,184	25,788	6,299	7,492	9,235	9,625	7,894	6,579	9,408	116,847
平成30年度	8,283	9,702	9,776	7,681	26,481	6,088	9,513	8,693	6,075	5,935	5,966	9,220	117,141
令和元年度	8,465	13,987	11,176	8,689	26,709	8,071	7,844	9,852	7,657	6,387	6,913	4,486	120,236
対前年比	2%	44%	14%	13%	1%	33%	-18%	13%	26%	8%	16%	-51%	2.6%

令和元年度に開催したイベント	<企画展、特別展>			
	近代七宝のはじまり(4/27~6/16)	七宝に描かれた風景(7/27~9/8)	韓国七宝協会招待展(9/25~11/22)	春の訪れ(1/25~3/8)
<伝統文化映画会>(5/4,5)	(7/6,7)	(9/7,8)	(11/2,3)	(1/4,5)
<その他行事>	職人大集合(5/12)	七宝焼マスター(8/2,6)	七宝新作展(11/30~12/2)	巨大かるた大会(1/5)
	職人体験(5/6)	親子で自由研究(7/20~8/31)	職人体験(12/1)	職人さん大集合(12/8)
	職人大集合(5/12)	教職員七宝体験ツアー(8/8)	巨大かるたを作ろう(12/21)	キャンドルナイトの集い(12/21)
	キャンドルナイトの集い(6/24)	職人大集合(8/2)	クリスマスオーナメント作り(12/1~12/24)	(12/21) (1/5)
	きッズ七宝探偵団 (6/15)	(7/13)	(8/28)	(10/27)
	七宝歴史講座 (5/12)		(9/22)	(2/9)
	星空観察会 (5/18)	(7/27)	(10/5)	(2/1)

大人／小人・学生比率

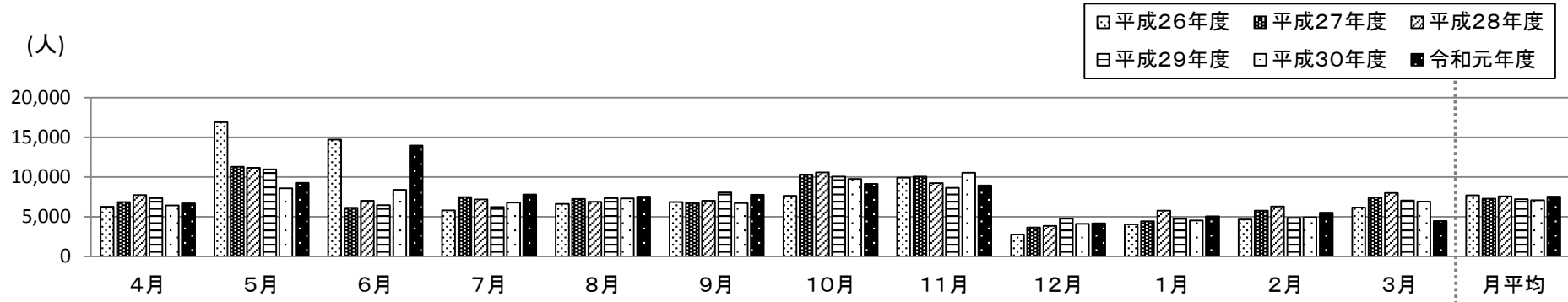


個人／団体比率



<令和元年度コメント>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による自粛や休館のため、3月の来館者が激減したものの、総入館者、展示観覧者ともに前年より大幅に増加している。特に団体での展示観覧者の増加が大きい。これは、修学旅行や社会見学での学校からの来館が増加しているためで、5月、6月、10月、11月の利用が特に多くなっている。
- ・個人の展示観覧者は6月、7月が多くなっているが、これは全国植樹祭に伴う天皇后両陛下の行幸啓によるところが大きいと思われる。
- ・その他、GWや夏休み期間に開催しているイベントが定着してきたことや、鉄道会社主催のハイキングコースに組み込まれてもらうなどといったことも、入館者増の要因となっている。



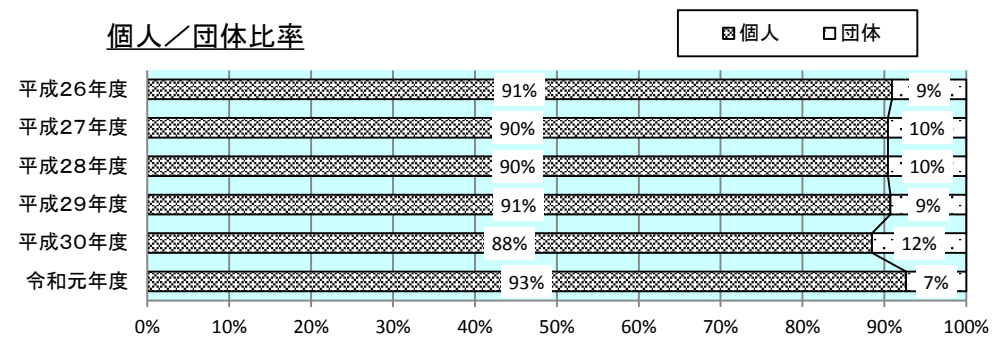
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	絞りまつり 含む総計
平成26年度	6,274	16,905	14,711	5,804	6,615	6,854	7,622	9,931	2,781	4,047	4,675	6,160	92,379	170,035
平成27年度	6,848	11,275	6,135	7,463	7,228	6,727	10,298	10,054	3,661	4,436	5,757	7,453	87,335	168,534
平成28年度	7,738	11,164	7,012	7,181	6,890	7,021	10,585	9,247	3,836	5,787	6,296	7,983	90,740	170,740
平成29年度	7,352	10,974	6,469	6,222	7,325	8,052	10,050	8,641	4,766	4,735	4,868	7,041	86,495	176,495
平成30年度	6,435	8,572	8,371	6,774	7,305	6,733	9,758	10,538	4,105	4,537	4,919	6,911	84,958	164,958
令和元年度	6,687	9,251	13,968	7,813	7,533	7,773	9,142	8,950	4,176	5,052	5,523	4,466	90,334	164,470
対前年比	4%	8%	67%	15%	3%	15%	-6%	-15%	2%	11%	12%	-35%	6%	-0.3%

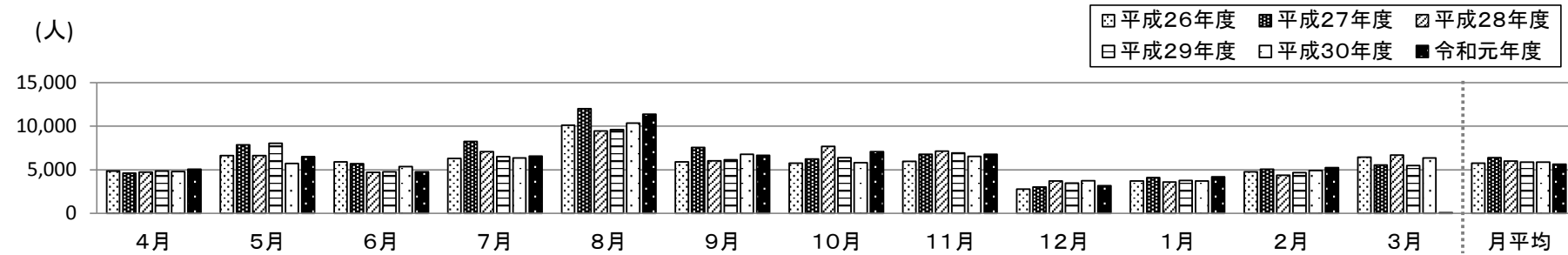
令和元年度に
開催したイベ
ント

第35回有松絞りまつり(6/1・2) 夏休み親子ふれあい絞り(8/8) 晩秋の有松を楽しむかい(11/9・10)

個人／団体比率

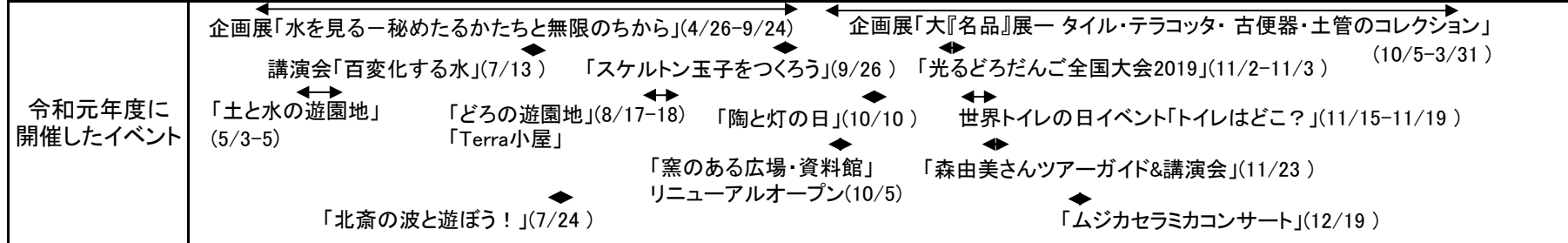


<令和元年度コメント>

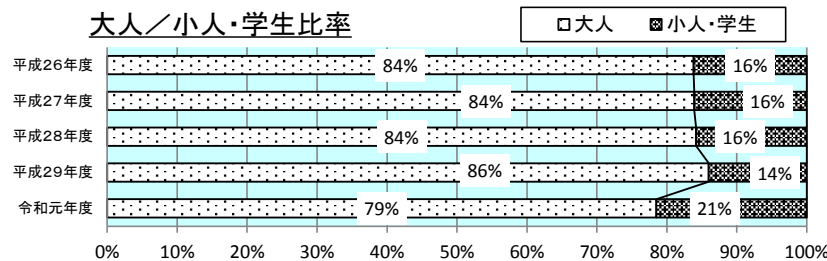


総入館者数

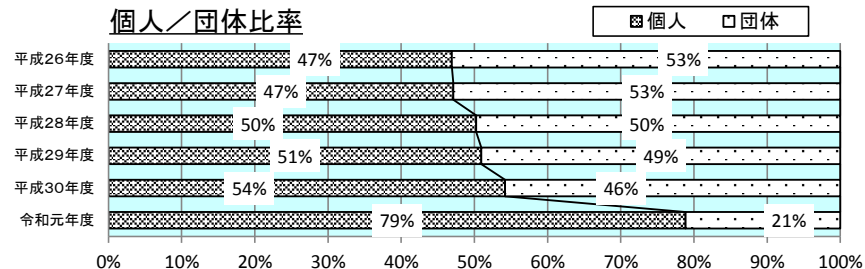
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	4,850	6,620	5,912	6,302	10,113	9,920	5,765	5,965	2,779	3,707	4,769	6,448	69,150
平成27年度	4,615	7,851	5,686	8,269	12,010	7,561	6,252	6,776	3,034	4,119	5,062	5,555	76,790
平成28年度	4,744	6,634	4,711	7,079	9,442	6,030	7,684	7,131	3,727	3,589	4,387	6,700	71,858
平成29年度	4,858	8,036	4,781	6,514	9,617	6,150	6,401	6,936	3,475	3,773	4,678	5,489	70,708
平成30年度	4,783	5,735	5,369	6,351	10,347	6,787	5,805	6,532	3,759	3,723	4,910	6,371	70,472
令和元年度	5,057	6,510	4,781	6,579	11,386	6,651	7,075	6,774	3,165	4,200	5,258	73	67,509
対前年比	6%	14%	-11%	4%	10%	-2%	22%	4%	-16%	13%	7%	-99%	-4%



大人／小人・学生比率

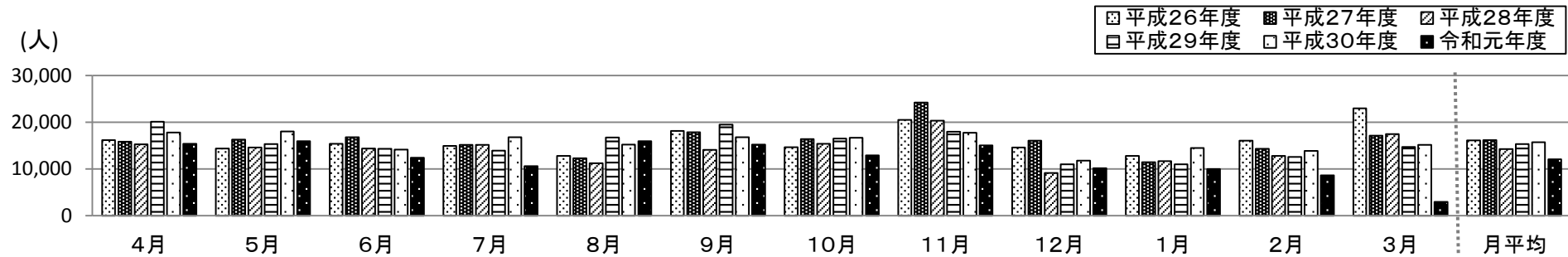


個人／団体比率



<令和元年度コメント>

- ・3月は新型コロナウイルスの感染防止のため臨時休館とした。
- ・通期での来館者数 67,509人(前年比96%) 3月開館を仮定すると 73,661人(前年比105%)
- ・GWと夏休みのある上期は展覧会のターゲットとするテーマで体験・体感型の企画とし、これを核に関連イベントやワークショップを展開した。名古屋市科学館学芸員の方を講師にお招きし、姿を変え「水」の不思議に迫る講演会や、コマ撮りアニメを親子で制作し、展示会場に投影するなど、新しい試みで来館者に楽しんでいただいた。19回目となる知多半島近郊の企業博物館で企画するスタンプラリーの新しい取り組みとして、他館との連携したイベントを実施。MIMさんとのコラボで「スケルトン玉子をつくろう」イベントを9月に開催。時期的に台風の影響を受けた。
- ・10月5日には「窯のある広場・資料館」をリニューアルオープンし、記念展として、普段展示されていない名品を施設全体を使って見せる特別企画展を開催した。10月単月では前年同月比で130%の来館者となったものの、冬期の来館者減と新型コロナの影響が2月頃から現れ、同上のような結果となった。
- ・大型連休となったGWの直後から6月にかけてと、12月の集客数不振が結果に大きく影響した。

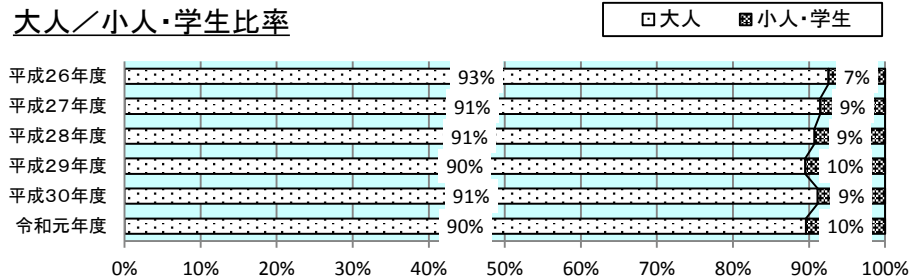


総入館者数

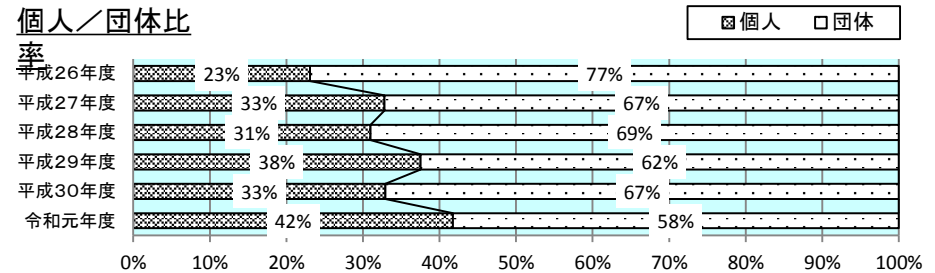
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	16,175	14,404	15,368	14,935	12,827	18,145	14,668	20,489	14,623	12,808	16,048	22,975	193,465
平成27年度	15,849	16,308	16,789	15,175	12,284	17,890	16,407	24,240	16,085	11,452	14,339	17,123	193,941
平成28年度	15,254	14,574	14,360	15,185	11,203	14,122	15,372	20,353	9,152	11,664	12,784	17,452	171,475
平成29年度	20,112	15,305	14,307	13,949	16,749	19,465	16,534	17,990	10,980	11,019	12,551	14,721	183,682
平成30年度	17,787	18,050	14,134	16,777	15,217	16,777	16,654	17,745	11,794	14,464	13,890	15,136	188,425
令和元年度	15,386	15,927	12,403	10,594	15,953	15,197	12,941	15,024	10,145	10,006	8,619	2,949	145,144
対前年比	-13%	-12%	-12%	-37%	5%	-9%	-22%	-15%	-14%	-31%	-38%	-81%	-23%

令和元年度に開催したイベント
 ← 夏祭り(7/24~8/31) きらり祭り(10/1) →

大人/小人・学生比率



個人/団体比率

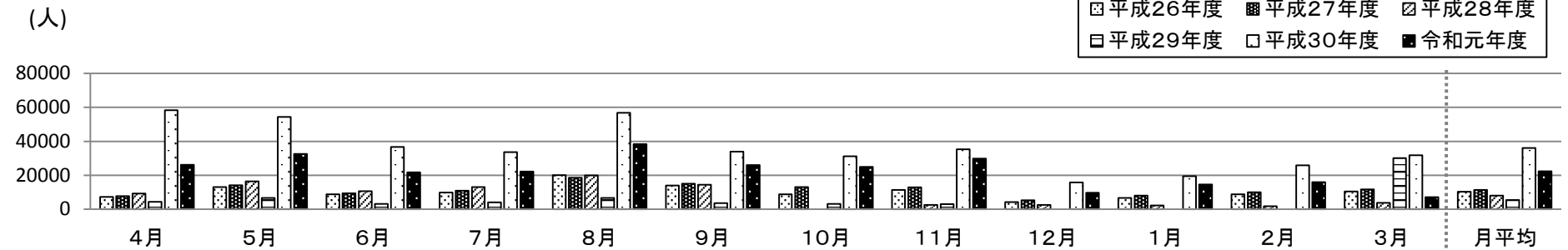


<令和元年度コメント>

・新型コロナウイルスに尽きる。団体客の大幅な減少が、2月中旬より続いた。

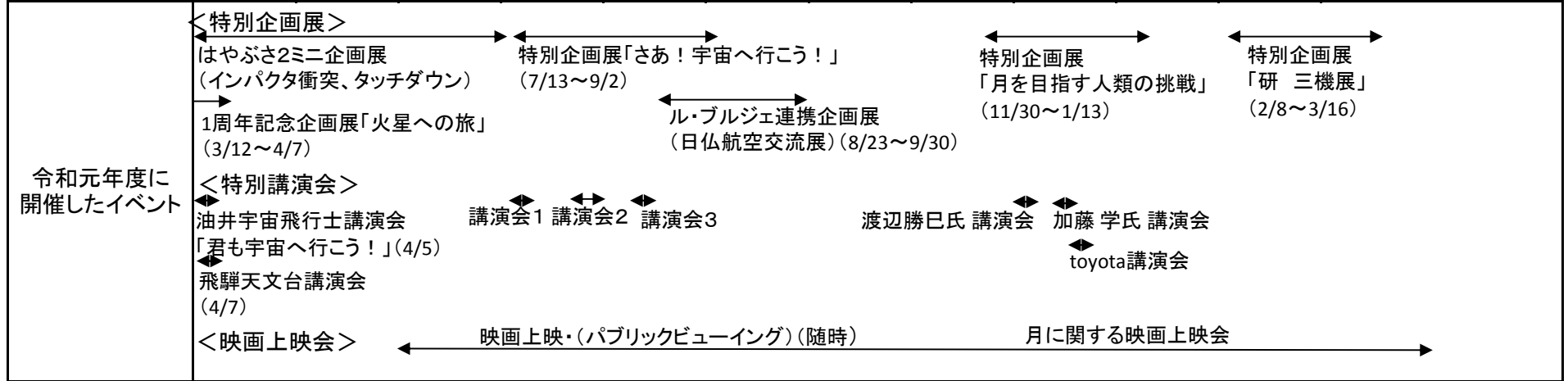
博物館入館者数推移

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

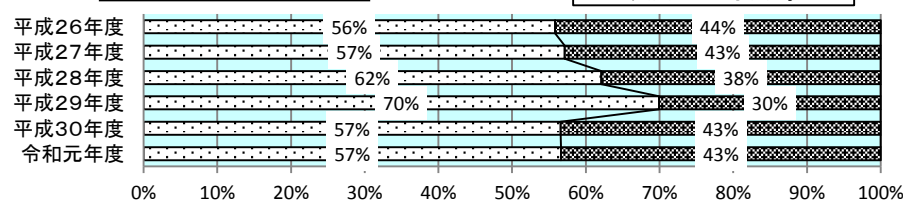


総入館者数

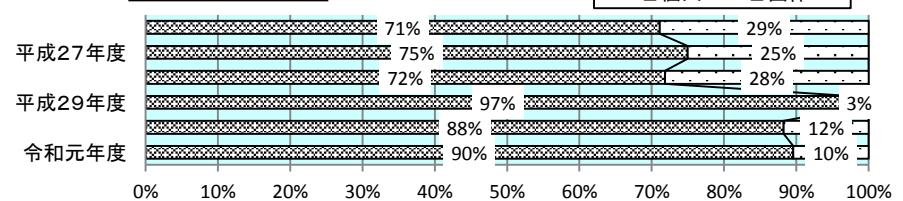
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	7,247	13,095	8,747	9,871	20,013	14,021	8,727	11,403	4,145	6,594	8,727	10,396	122,986
平成27年度	7,796	14,129	9,366	10,899	18,596	15,100	13,007	12,953	5,302	8,083	9,960	11,666	136,857
平成28年度	9,290	16,425	10,647	13,026	19,975	14,369	0	2,592	2,547	2,264	1,824	3,727	96,686
平成29年度	4,350	6,608	3,100	4,087	6,671	3,537	3,221	2,936	0	0	0	30,198	64,708
平成30年度	58,353	54,418	36,609	33,603	56,728	33,914	31,250	35,317	15,726	19,493	25,921	31,872	433,204
令和元年度	26,181	32,526	21,743	22,152	38,295	25,990	24,940	29,798	9,742	14,624	15,995	7,080	269,066
対前年比	-55%	-40%	-41%	-34%	-32%	-23%	-20%	-16%	-38%	-25%	-38%	-78%	-38%



大人／小人・学生比率

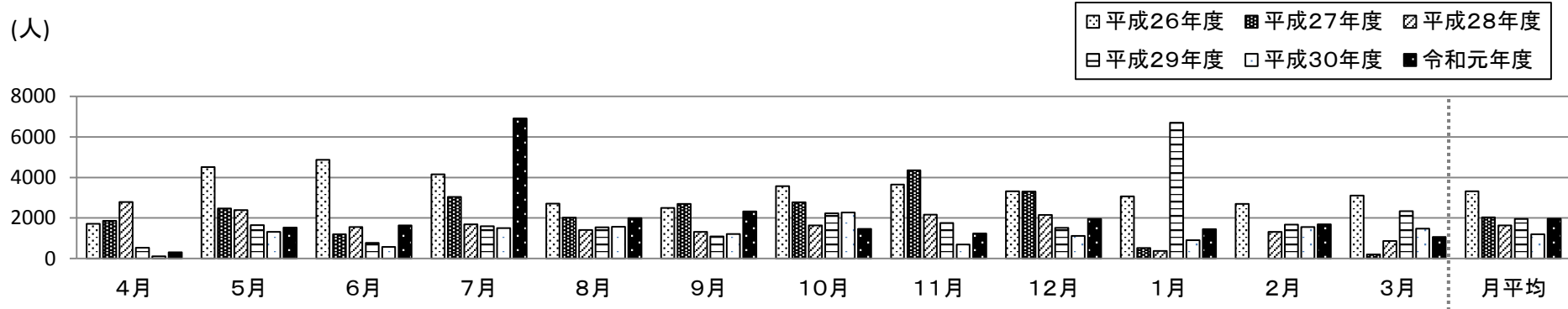


個人／団体比率



<令和元年度コメント>

・入館者総数は30年度433,204人に対して元年度269,066人で、38%減。
 コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度3月の入館者数が対前年同月比78%減と大きく落ち込んだ。

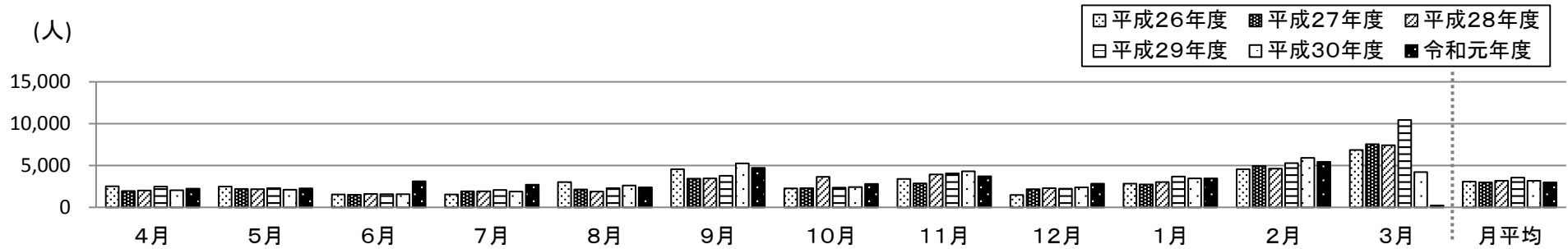


総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	1,713	4,507	4,865	4,150	2,714	2,491	3,571	3,655	3,312	3,067	2,696	3,109	39,850
平成27年度	1,861	2,474	1,197	3,034	2,013	2,694	2,776	4,346	3,306	520	0	195	24,416
平成28年度	2,784	2,391	1,552	1,685	1,407	1,309	1,630	2,162	2,146	374	1,317	869	19,626
平成29年度	535	1,652	766	1,589	1,538	1,086	2,235	1,757	1,508	6,699	1,669	2,337	23,371
平成30年度	114	1,321	567	1,496	1,564	1,211	2,267	693	1,111	903	1,560	1,468	14,275
令和元年度	302	1,531	1,631	6,908	1,995	2,326	1,455	1,237	1,947	1,445	1,681	1,062	23,520
対前年比	165%	16%	188%	362%	28%	92%	-36%	78%	75%	60%	8%	-28%	65%

令和元年度に開催したイベント	2019/7/3～8「中部デザイン団体協議会(CCDO)創立30周年記念展覧会 時代を伝えたポスター 1989～2019」 2019/7/11～21「小林賢太郎の「本」展」 2019/7/24～29「AICHI AD AWARDS 2019 優秀広告作品展」 2019/8/20～21「バルーンフェスティバル/23rd JBAN コンベンション」 2019/8/24～9/22「IdcNコレクションシリーズvol.24 Electric Media ラジオの時代」 2019/9/25～30「手づくり針穴写真機とその写真展vol.16」 2019/10/10～12「名古屋学芸大学デザイン学科 第16回コンタクト展」 2019/10/16～21「NAGOYA DESIGN FIND 2019」 2019/11/7～11「ギャッペアートギャラリー特別企画 ペルシャ絨毯展&オールドトライバルラグ展」 2019/11/27～12/2「公益社団法人愛知建築士会名古屋6支部30周年記念事業 なごや建築祭「なごやええとこ絵はがき大賞」」 2019/12/11～16「はじけるクラフト！ つかう・あそぶ」 2019/12/18～23「connectA Award 2019 推詞展 あなたを動かすことば」 2020/1/18「放送大学 ようこそ！ 情報デザインの世界へー公開講座in名古屋」 2020/1/28～30「名古屋学芸大学デザイン学科 なごやVISION展2020」 2020/2/19～23「Vol.8大同大学×4デザイン専攻リレー展示 メディアデザイン専攻」 2020/2/26～3/2「草場一壽 陶彩画新作 名古屋個展」
----------------	---

＜令和元年度コメント＞
 ・夏季企画展入場者数の増加と一部館内施設の移設及びリニューアルオープンがあり、来場者数が大幅増加した。

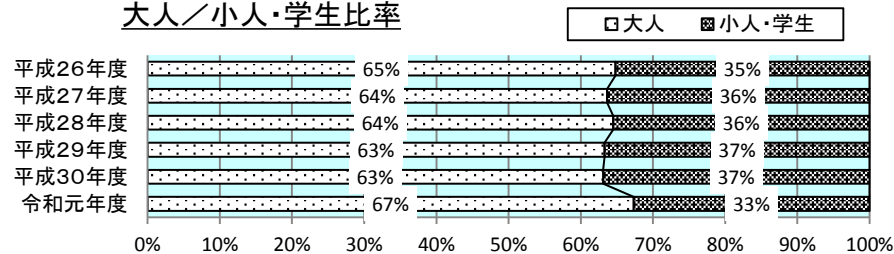


総入館者数

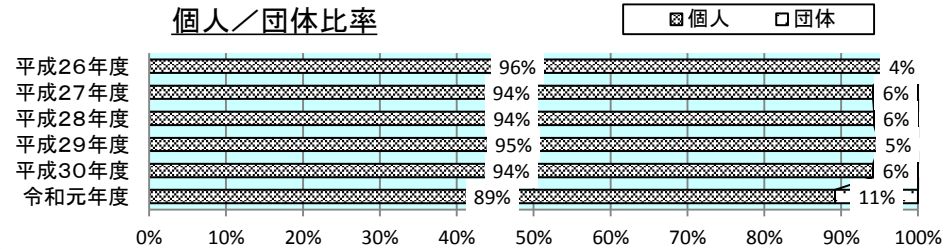
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	2,538	2,485	1,558	1,562	3,031	4,585	2,282	3,416	1,494	2,832	4,582	6,875	37,240
平成27年度	1,955	2,214	1,508	1,939	2,150	3,428	2,303	2,882	2,180	2,753	4,955	7,552	35,819
平成28年度	2,014	2,166	1,617	1,936	1,881	3,471	3,654	3,940	2,306	3,015	4,640	7,417	38,057
平成29年度	2,481	2,306	1,575	2,094	2,300	3,794	2,363	4,062	2,251	3,694	5,280	10,467	42,667
平成30年度	2,069	2,127	1,585	1,906	2,632	5,262	2,434	4,317	2,384	3,459	5,914	4,226	38,315
令和元年度	2,237	2,275	3,109	2,718	2,403	4,728	2,803	3,732	2,836	3,469	5,444	240	35,994
対前年比	8%	7%	96%	43%	-9%	-10%	15%	-14%	19%	0%	-8%	-94%	-6%

令和元年度に開催したイベント	企画展「新出土品展」(5/18~8/25)			企画展「猫のポット展」(8/31~11/17)			企画展「千峰園」(11/23~2/16)		企画展「新山」(2/22~3/4)		
	企画展「愛知県陶磁器技能士会展」		企画展「土の詩」(7/13~9/29)		企画展「秋の窯めぐり展」		企画展「むかしの道具展」		企画展「SAMS陶展」(2/22~3/)		
	招き猫地上絵(8/9)							お雛さま地上絵(1/10~3/4)		千代紙のつるし飾り(1/10~3/4)	

大人／小人・学生比率

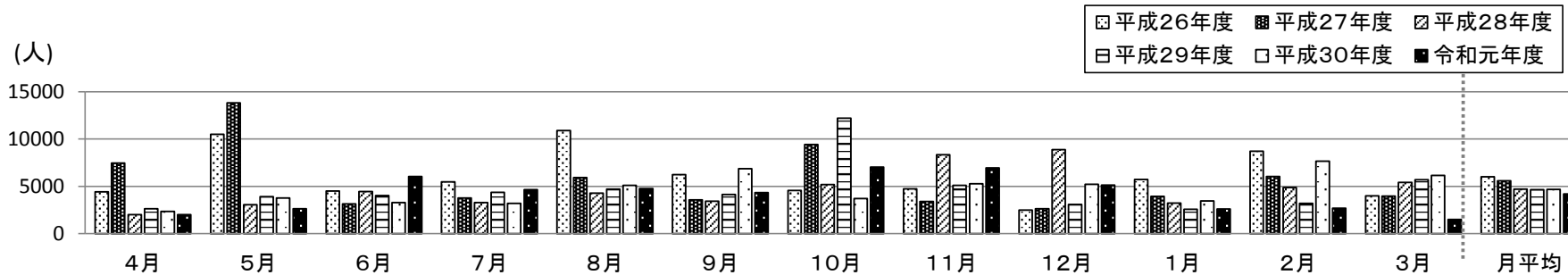


個人／団体比率



<令和元年度コメント>

・昨年度に比べて2321人減少した。これは3月5日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館となり入館者が見込めた3月末の大型イベントが中止となったためである。しかし2月末までの合計の実績は前年比増であった。これは観光協会とタイアップしたバスツアーの立ち寄り場所となったためと学校の社会見学者数が堅調であったためである。上記の企画展・イベントのほかにも1月・3月を除く毎月に体験型のイベントを開催し、集客に努めた。



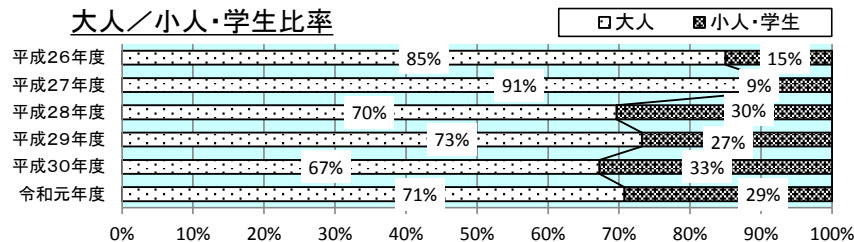
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	4,408	10,504	4,516	5,466	10,889	6,244	4,559	4,739	2,504	5,735	8,718	3,997	72,279
平成27年度	7,468	13,805	3,142	3,781	5,913	3,580	9,409	3,398	2,620	3,938	6,045	3,980	67,079
平成28年度	1,995	3,056	4,444	3,285	4,292	3,430	5,194	8,332	8,885	3,236	4,880	5,402	56,431
平成29年度	2,620	3,915	4,018	4,368	4,716	4,151	12,187	5,116	3,081	2,584	3,188	5,706	55,650
平成30年度	2,340	3,774	3,297	3,206	5,100	6,864	3,721	5,261	5,223	3,444	7,655	6,167	56,052
令和元年度	2,022	2,622	6,031	4,652	4,761	4,333	7,041	6,961	5,117	2,612	2,680	1,505	50,337
対前年比	-14%	-31%	83%	45%	-7%	-37%	89%	32%	-2%	-24%	-65%	-76%	-10%

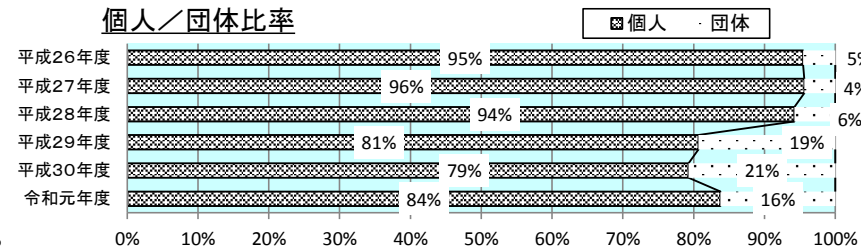
令和元年度に開催したイベント

- 企画展「朱明德-帰れない故郷、扉の向こう側」(4/13~6/23)
- 企画展「平面→立体→カラクリ展-秋山泰計の世界-」(7/6~)
- 企画展「山本良比古-緻密な風景を描いた”虹の絵師”」(9/28~12/26)
- 企画展「やきもの王国-中世猿投窯と常滑窯」(1/26~3/24)

大人／小人・学生比率



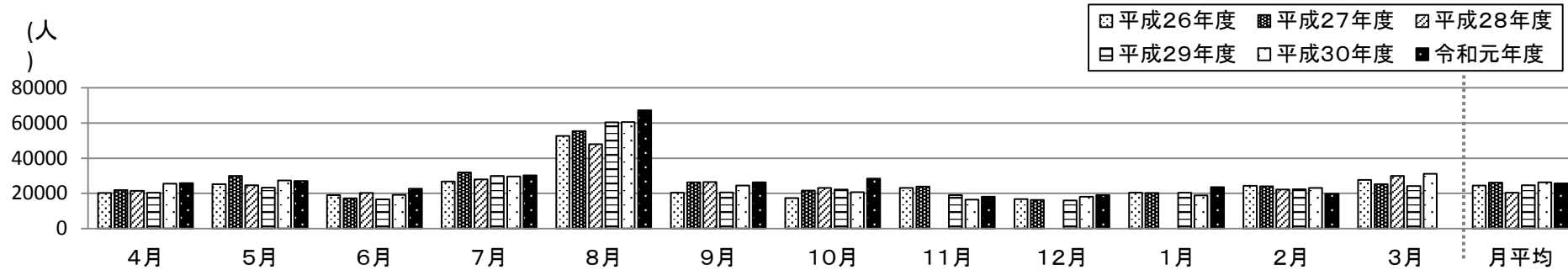
個人／団体比率



<令和元年度コメント>

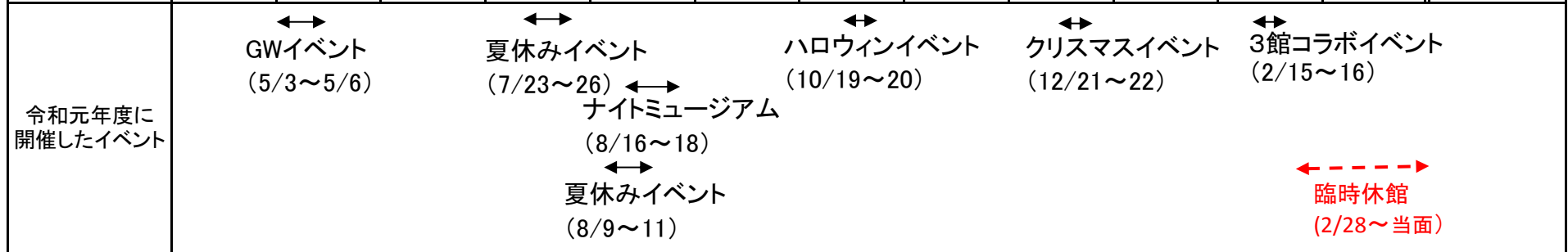
- ・27年度 展覧会(常設・企画・特別) 43,455人 施設 16,425人 陶芸 7,199人 総計 67,079人 初来館者39.8% 半年以内40.1% 以降大幅予算削減のため展覧会観覧者大幅削減
- ・28年度 展覧会(企画・特別) 18,933人(モノコト旧常設)16151人 施設17046人 陶芸4301人 総計56431人 初来館者47.1% 半年以内37.5%
- ・29年度 展覧会(企画・特別) 12720人(モノコト旧常設)21223人 施設17790人 陶芸3917人 総計55650人 初来館者37.3% 半年以内39.1%
- ・30年度 展覧会(企画・特別) 10220人(モノコト旧常設)21130人 施設21107人 陶芸3595人 総計56052人 初来館者33.3%半年以内19.6%
- ・令和元年 展覧会(企画) 10876人(モノコト旧常設)15031人 施設20967人 陶芸3463人 総計50337人 初来館者39%半年以内30%

・展覧会は名称として企画特別の区別なくす。「朱明德」のみ蔵品展だが、他は他館からの借用作品ベースだがオリジナル企画。「秋山泰計」「山本由比古」が予想以上に健闘、全体として昨年上回る。モノコトの差は昨年の森展がモノコトにも展示したためダブルカウントで大きな差を生む。陶芸・施設共は3月コロナの影響で団体需要が落ち込み少し落ちる、通常なら両方共超えていた。全体の差もモノコトが要因。展覧会テーマを受けた上映会や、逆に「やきもの王国」の歴史パロディーとして現代美術家柴川氏作品の「2000年後の未来旅行」などを行う一方、みんなで美術館構想として、生活を豊かにする、夏休み自由研究講座や中高生、市民を巻き込んだ瓦を楽器にしたコンサートやマルシェなどジャンルを拡げた様々な企画イベント・ワークショップに努めた。

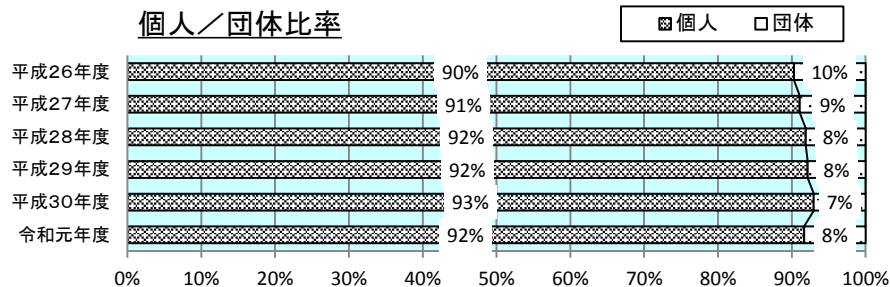


総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	20,236	25,147	19,038	26,738	52,610	20,345	17,355	23,127	16,795	20,310	24,319	27,649	293,669
平成27年度	21,890	29,913	17,112	31,936	55,302	26,268	21,549	23,869	16,230	20,203	24,045	25,138	313,455
平成28年度	21,417	24,672	20,144	27,982	48,002	26,432	23,101	0	0	0	22,112	29,860	243,722
平成29年度	20,307	23,289	16,569	29,848	60,334	20,477	22,158	19,039	15,939	20,402	22,261	24,209	294,832
平成30年度	25,561	27,358	19,133	29,619	60,595	24,381	20,658	16,434	18,143	18,887	23,076	31,165	315,010
令和元年度	25,886	26,980	22,672	30,224	67,267	26,229	28,361	18,066	19,015	23,503	19,785	0	307,988
対前年比	1%	-1%	18%	-1%	11%	8%	37%	10%	5%	24%	-14%	-100%	-2%

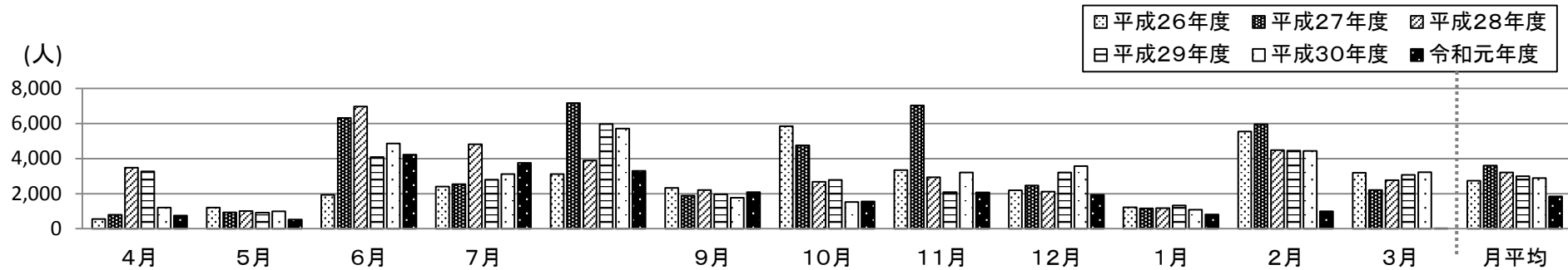


個人／団体比率



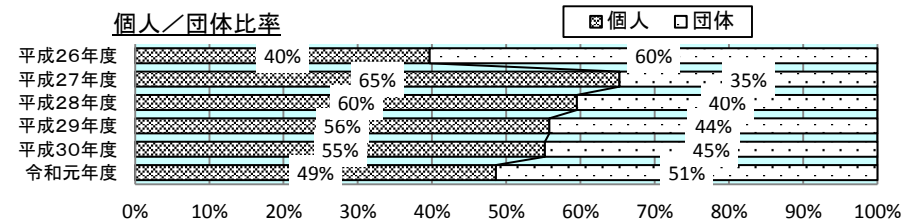
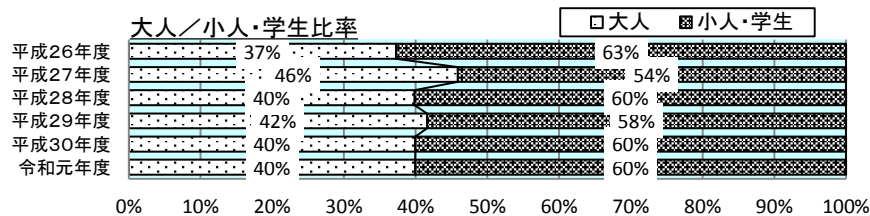
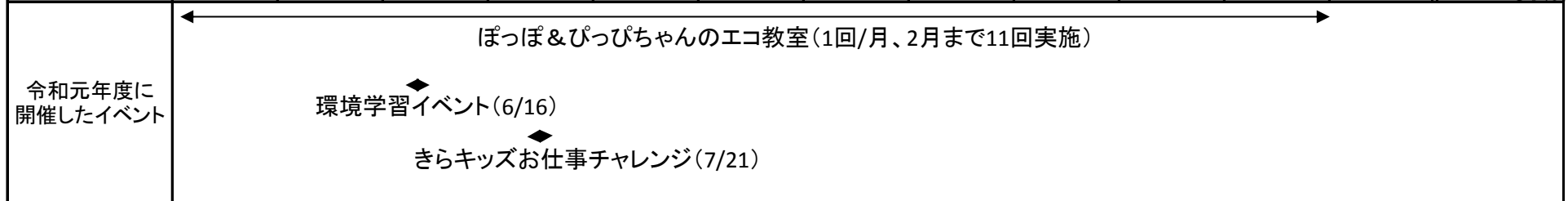
<令和元年度コメント>

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、2/28より臨時休館しており、入館者数は昨年比7,022名の減少となっている。
- ・2月以前の入館者数の合計では、昨年比24,143名増加しているが下期の団体増によるものである。



総入館者数

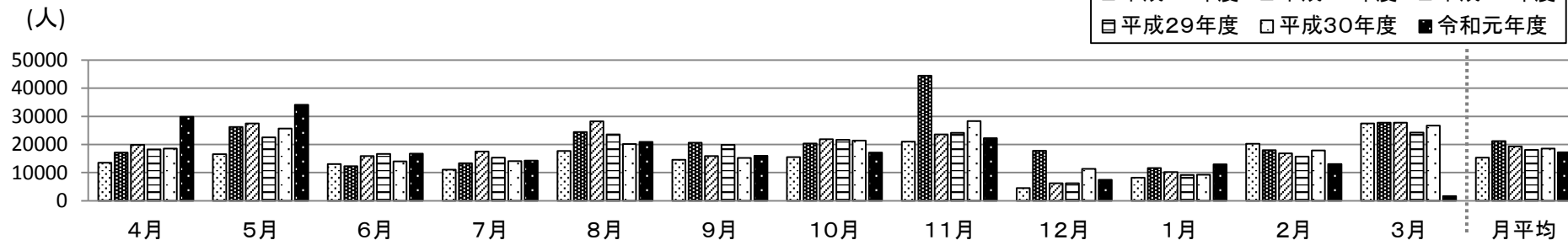
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	548	1,208	1,937	2,400	3,115	2,326	5,850	3,344	2,184	1,215	5,550	3,188	32,865
平成27年度	789	933	6,317	2,535	7,172	1,889	4,759	7,032	2,469	1,151	5,949	2,203	43,198
平成28年度	3,474	999	6,978	4,823	3,889	2,199	2,676	2,939	2,116	1,180	4,479	2,773	38,525
平成29年度	3,261	923	4,091	2,799	5,974	1,970	2,777	2,086	3,200	1,326	4,457	3,071	35,935
平成30年度	1,205	985	4,860	3,120	5,712	1,766	1,517	3,203	3,574	1,076	4,442	3,223	34,683
令和元年度	753	514	4,225	3,751	3,302	2,084	1,556	2,076	1,935	806	984	25	22,011
対前年比	-38%	-48%	-13%	20%	-42%	18%	3%	-35%	-46%	-25%	-78%	-99%	-37%



<令和元年度コメント>

- ・予算削減および臨時休館による大型イベントの回数減(3回/年)にともない約5,800人の来館者数減。
- ・イベント以外でも、主力の小学校による校外学習を含む各種団体および一般家族とも約20%の来館減。効果的なPRが出来なかったことが主な要因と考えられるが効果的な対応策は見いだせていない。
- ・3/3から5/14まで臨時休館中。

平成26年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度
 平成30年度
 令和元年度

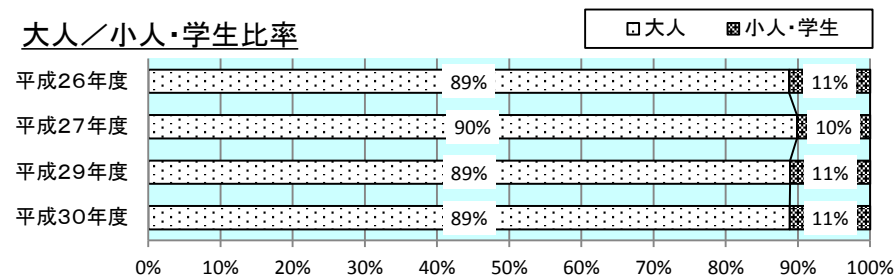


総入館者数

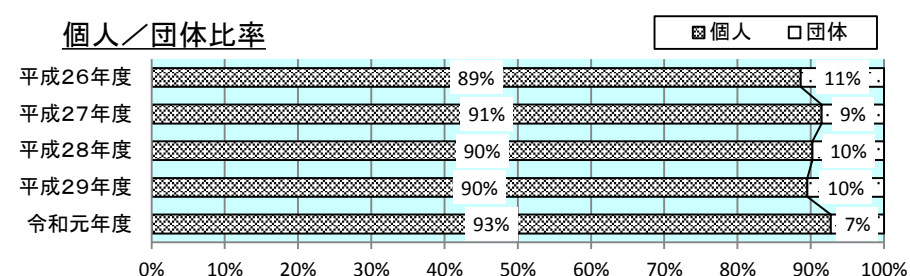
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	13,552	16,574	12,992	11,029	17,674	14,526	15,548	20,959	4,526	8,230	20,221	27,432	183,263
平成27年度	17,118	26,235	12,269	13,280	24,461	20,640	20,304	44,474	17,744	11,656	17,933	27,734	253,848
平成28年度	19,882	27,456	15,873	17,510	28,185	15,886	21,841	23,576	6,195	10,207	16,852	27,692	231,155
平成29年度	18,212	22,565	16,683	15,336	23,599	19,834	21,651	24,123	6,204	9,194	15,718	24,191	217,310
平成30年度	18,501	25,685	13,998	14,055	20,198	15,253	21,415	28,286	11,303	9,250	17,853	26,716	222,513
令和元年度	29,794	34,125	16,745	14,289	20,896	15,999	17,111	22,241	7,410	12,940	13,056	1,685	206,291
対前年比	61%	33%	20%	2%	3%	5%	-20%	-21%	-34%	40%	-27%	-94%	-7%

令和元年度に開催したイベント

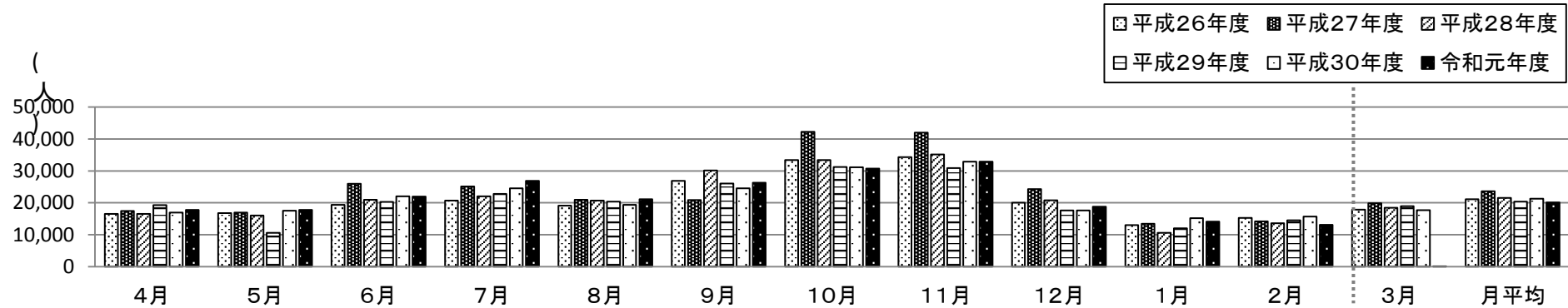
大人／小人・学生比率



個人／団体比率



<令和元年度のコメント>



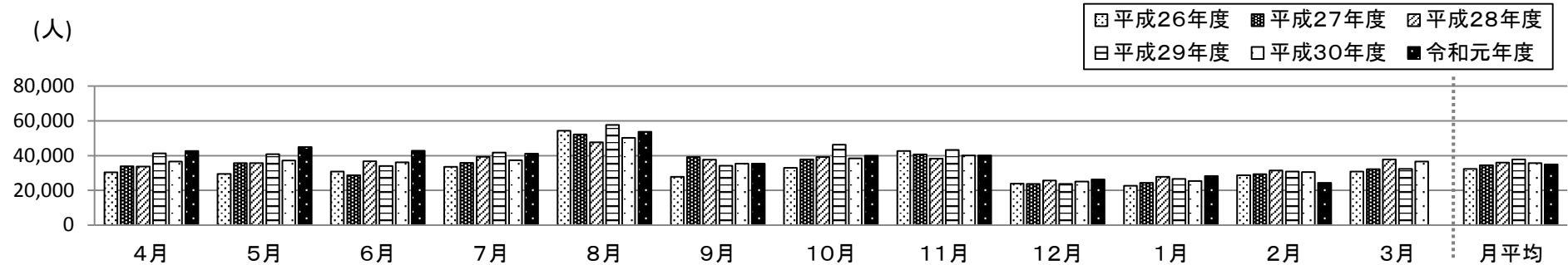
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	16,523	16,782	19,360	20,725	19,098	26,856	33,385	34,318	19,996	12,967	15,234	17,833	253,077
平成27年度	17,405	16,930	26,000	25,097	20,912	20,863	42,229	41,985	24,268	13,387	14,153	19,861	283,090
平成28年度	16,521	16,057	20,986	22,053	20,657	30,146	33,423	35,173	20,771	10,564	13,560	18,415	258,326
平成29年度	19,274	10,561	20,237	22,757	20,344	26,083	31,254	30,928	17,577	12,037	14,470	18,970	244,492
平成30年度	16,971	17,541	22,034	24,531	19,349	24,581	31,168	32,896	17,579	15,150	15,667	17,705	255,172
令和元年度	17,759	17,777	21,939	26,909	21,123	26,328	30,758	32,928	18,765	14,062	13,099	8	241,455
対前年比	5%	1%	0%	9.7%	9%	7%	-1%	0%	7%	-7%	-16%	-100%	-5%

令和元年度に開催したイベント	「トヨタセーフティスクール」(5/9～7/12のうち28日間)	ミュージアムクイズラリー(9/20～10/11、22日間) イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展(松坂屋豊田店)との連携
	東京2020 1年前イベント (7/27) (8/24)	

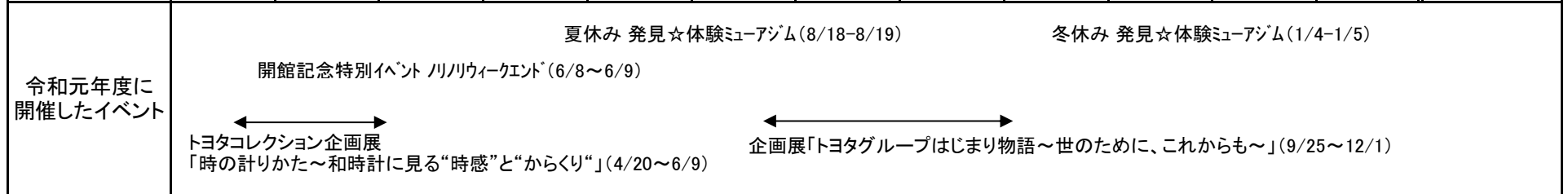
<令和元年度コメント>

- ・2018年度実績 255千人に比べ14千人減少、前年度比95%。
ただし、2019年4～12月の入館者数は概ね前年超えて推移し、2018年4～12月に比べ8千人増加、同期比104%
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日より休館。

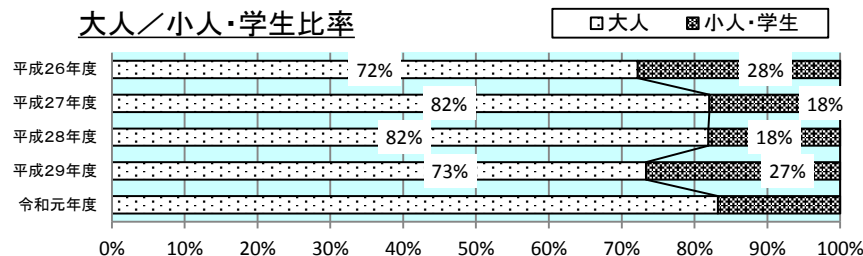


総入館者数

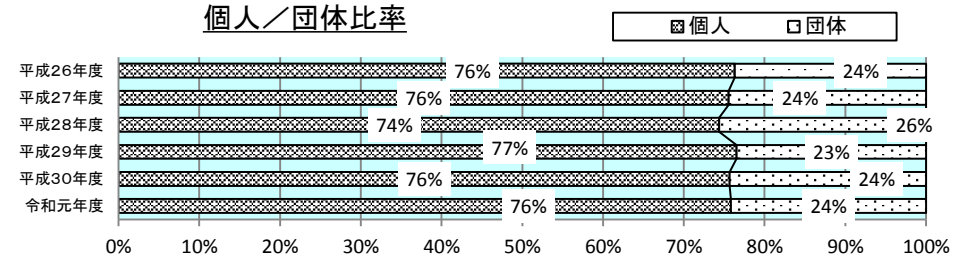
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	30,325	29,427	30,886	33,554	54,364	27,829	32,906	42,626	23,822	22,593	28,756	30,785	387,873
平成27年度	33,792	35,699	28,770	35,853	52,167	39,121	37,757	40,718	23,646	24,362	29,375	32,175	413,435
平成28年度	33,754	35,724	36,686	39,297	47,655	37,685	39,135	38,228	25,734	27,743	31,499	37,816	430,956
平成29年度	41,335	40,866	33,940	41,674	57,670	34,219	46,352	43,296	23,688	26,502	30,755	32,378	452,675
平成30年度	36,578	37,178	36,108	37,339	50,295	35,301	38,359	40,072	25,107	25,411	30,501	36,590	428,839
令和元年度	42,688	44,880	42,762	41,055	53,715	35,329	39,966	40,115	26,341	28,178	24,288	0	419,317
対前年比	17%	21%	18%	10%	7%	0%	4%	0%	5%	11%	-20%	-100%	-2%



大人／小人・学生比率



個人／団体比率

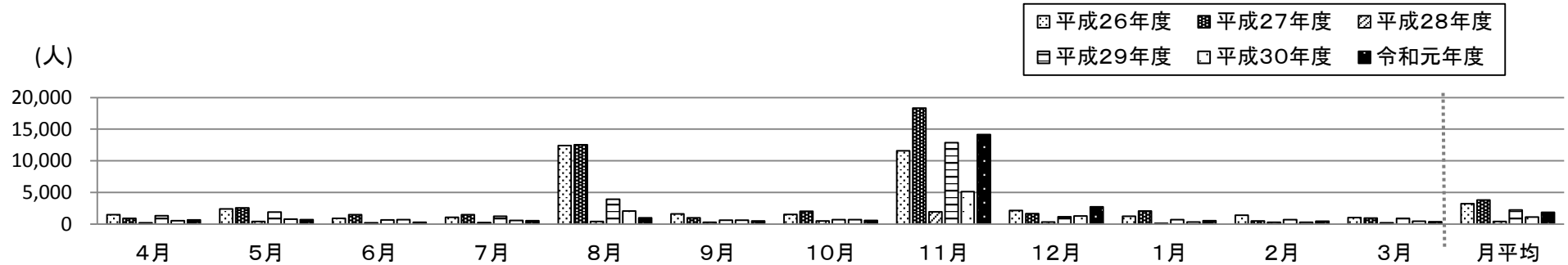


<令和元年度コメント>

2月29日より臨時休館

入館者数

- ① 4, 5, 6, 12, 1月は過去最高の入館者数
- ② 外国人比率は韓国は大幅に落ち込むも、中国増で2018年と同じく18%
- ③ 2015年以降年間入館者は40万人越えで推移(過去3年 45万人/2017年、43万人/2018年、42万人/2019年)



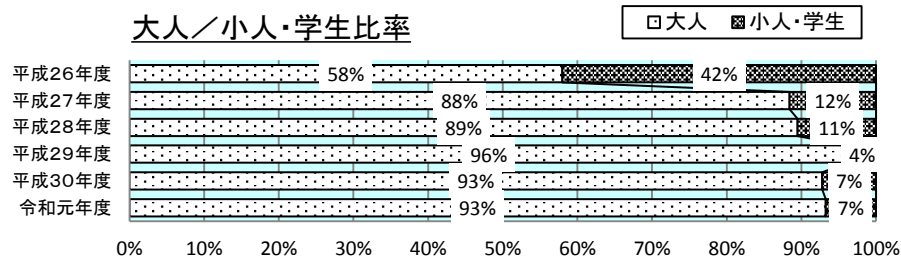
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	1,488	2,407	919	1,074	12,423	1,624	1,513	11,599	2,132	1,242	1,398	1,034	38,853
平成27年度	923	2,558	1,471	1,498	12,529	979	2,013	18,330	1,652	2,078	492	967	45,490
平成28年度	222	425	198	234	399	290	495	1,937	316	130	270	187	5,103
平成29年度	1,310	1,920	665	1,237	3,925	618	693	12,848	1,140	697	685	914	26,652
平成30年度	552	799	700	589	2,084	632	703	5,119	1,291	321	288	444	13,522
令和元年度	654	697	292	527	989	510	568	14,160	2,720	526	473	389	22,505
対前年比	18%	-13%	-58%	-11%	-53%	-19%	-19%	177%	111%	64%	64%	-12%	66%

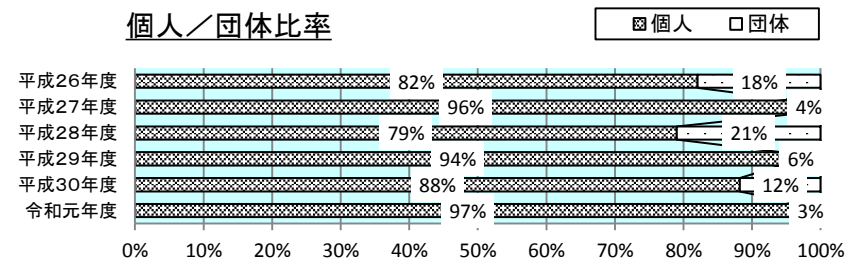
令和元年度に開催したイベント

- 豊田小原和紙工房巡り(5/25)
- 豊田小原和紙工房巡り(11/9)
- 四季桜まつり(11/9~30)
- カンゾカシキ(1/17) (コウゾ収穫祭)

大人／小人・学生比率



個人／団体比率

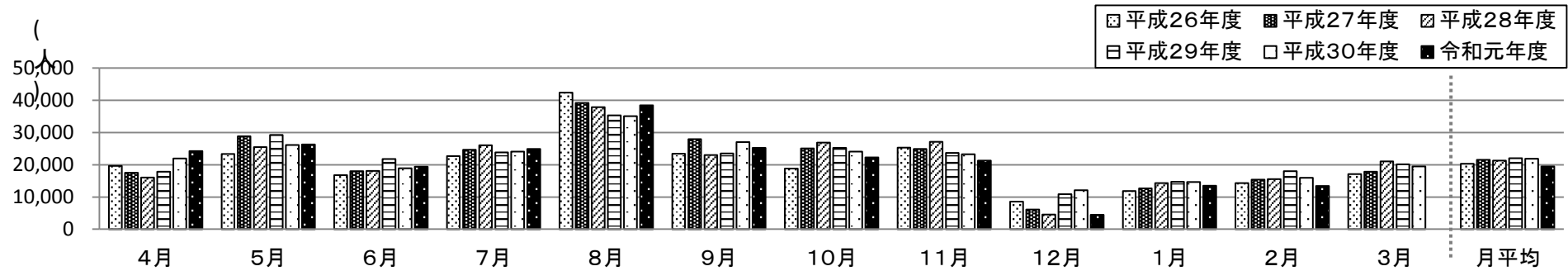


<令和元年度コメント>

- ・9月3日から3月27日まで和紙展示館は工事休館
- ・1月21日から3月27日まで和紙工芸館は工事休館(休憩所で紙漉き体験を実施)
- ・11月は、人気テレビ番組が四季桜を取り上げたため、和紙工芸館への来館者が非常に多かった。

博物館入館者数推移

トヨタ博物館



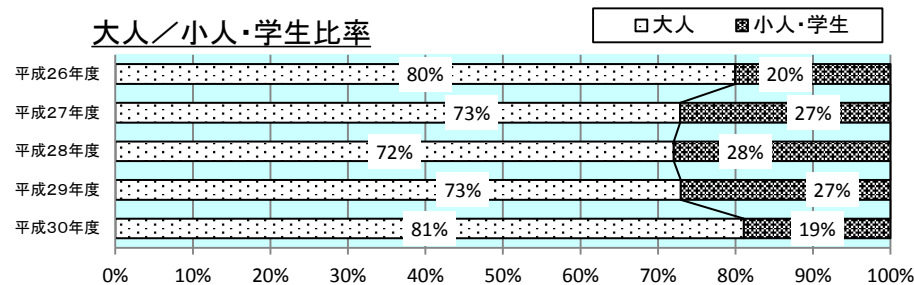
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	19,637	23,325	16,781	22,640	42,382	23,416	18,802	25,302	8,561	11,833	14,293	17,069	244,041
平成27年度	17,526	28,846	17,999	24,611	39,201	27,941	25,090	24,897	6,110	12,687	15,373	17,805	258,086
平成28年度	16,016	25,455	18,089	26,069	37,843	22,974	26,824	27,073	4,525	14,299	15,534	21,071	255,772
平成29年度	17,844	29,234	21,741	23,809	35,290	23,477	25,204	23,632	10,871	14,703	18,015	20,140	263,960
平成30年度	21,932	26,120	18,934	24,055	35,108	27,039	24,071	23,226	12,120	14,623	15,911	19,445	262,584
令和元年度	24,228	26,290	19,363	24,911	38,407	25,217	22,282	21,274	4,489	13,458	13,392	0	233,311
対前年比	10%	1%	2%	4%	9%	-7%	-7%	-8%	-63%	-8%	-16%	-100%	-11%

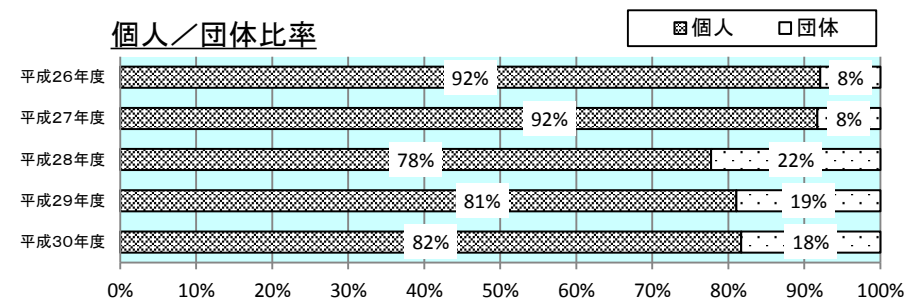
令和元年度に開催したイベント

- ▼「クルマ文化資料室」オープン (4/17)
- ▼30周年記念トーク 港千尋氏 松任谷正隆氏 池田真由美氏 「移動は文化」 (6/2) (6/16) (6/30)
- ▼長久手市民感謝ウィーク無料入場 (4/17~4/26)
- ▼馬なし馬車から自動車へ(4/17~6/30)
- ▼ナイトミュージアム (8/13-15,10/11,18, 11/1,15)
- ▼クラシックカーフェスティバル(愛・地球博記念公園) (10/25)
- ▼サマーフェスタ2020(4/17~9/23)
- ▼100年前のイノベーション ~T型フォードが変えたこと~ (10/10~4/12予定、実際は2/29から休館のため2/28で終了)
- 鈴木一義氏 (10/19)
- 池沢早人師氏&サーキョットの狼ミーティング (2/9)

大人／小人・学生比率

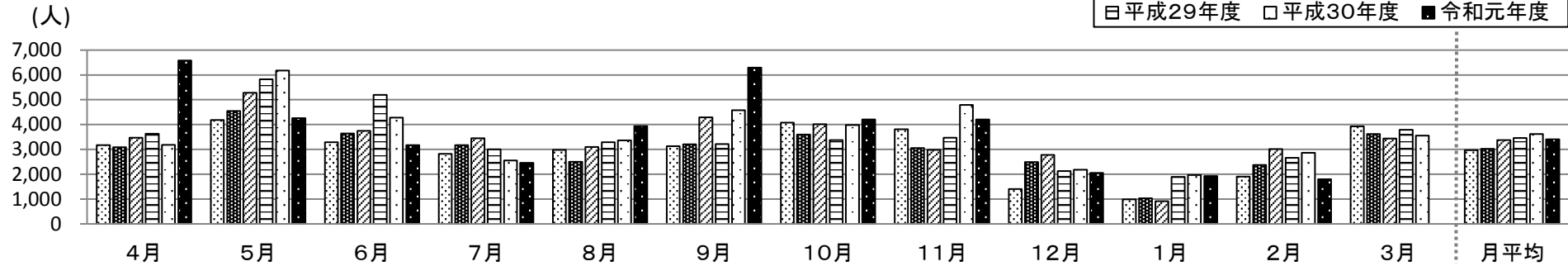
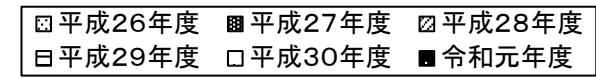


個人／団体比率



<令和元年度のコメント>

- ・4月に開館30周年を迎え、新常設展示をオープン。その広報効果もあり8月までは前年を上回る入場者数であった。9月以降は台風による休館、また消費税の影響か、前年比を下回った。1月に入場料を値上げ(一般1000→1200円)入場者数は前年比 %だったが、収入は前年度並みを確保。
- ・30周年を記念し地元への感謝として長久手市民無料ウィークを実施。約700人と、長久手市人口の1%がご来場。
- ・愛・地球博の頃以来のナイトミュージアムを実施。集客としては、昼間開館時の10分の1程度と低調。特別ガイドなどの実施でコアファンには好評。

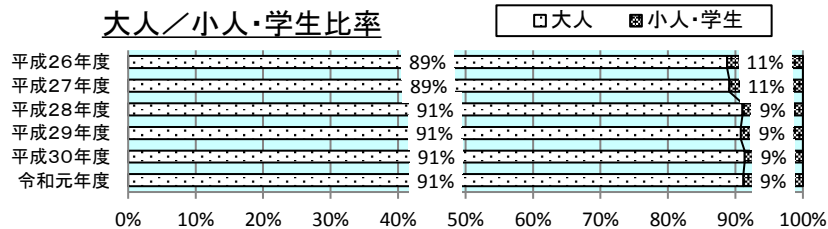


総入館者数

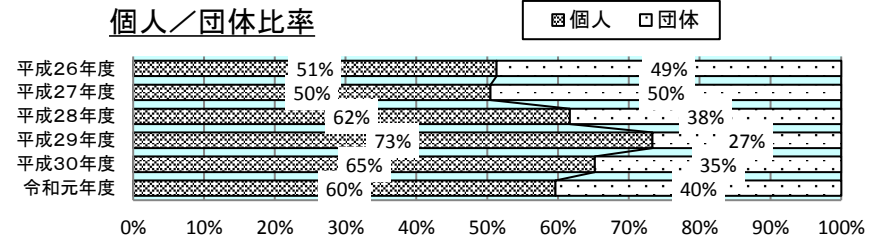
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	3,175	4,184	3,289	2,825	2,979	3,130	4,081	3,811	1,404	993	1,903	3,931	35,705
平成27年度	3,090	4,542	3,640	3,171	2,505	3,209	3,602	3,052	2,490	1,030	2,370	3,624	36,325
平成28年度	3,470	5,285	3,745	3,454	3,095	4,292	4,011	2,984	2,780	912	3,014	3,438	40,480
平成29年度	3,629	5,827	5,201	3,004	3,285	3,213	3,375	3,476	2,133	1,893	2,661	3,786	41,483
平成30年度	3,183	6,172	4,280	2,559	3,369	4,575	3,981	4,795	2,185	1,972	2,867	3,551	43,489
令和元年度	6,582	4,264	3,175	2,462	3,941	6,295	4,211	4,207	2,055	1,924	1,797	0	40,913
対前年比	107%	-31%	-26%	-4%	17%	38%	6%	-12%	-6%	-2%	-37%	-100%	-6%

令和元年度に開催したイベント	令和元年度 2019年4月-2020年3月 企画展「薬局方のあゆみ」開催 毎月21日くすり博物館」オレンジカフェ開催	7月・8月 博物館ガイドツアー(薬研体験付) 7月 企画展見学ツアー 7月・8月 薬草園ガイドツアー 8月 藍染体験 8月 薬草説明会 8月 レモングラス刈り
	毎月第4日曜 風花の会 毎月第2土曜 薬草歳時記講演会	

大人／小人・学生比率

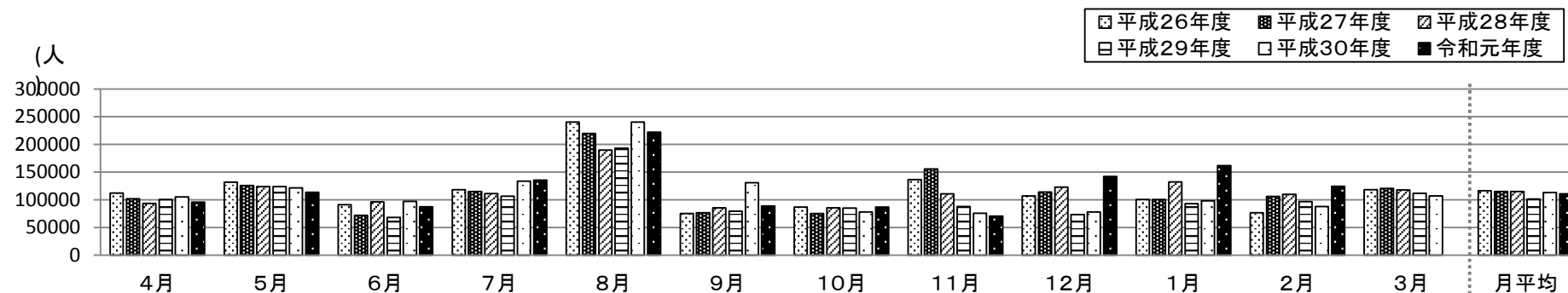


個人／団体比率



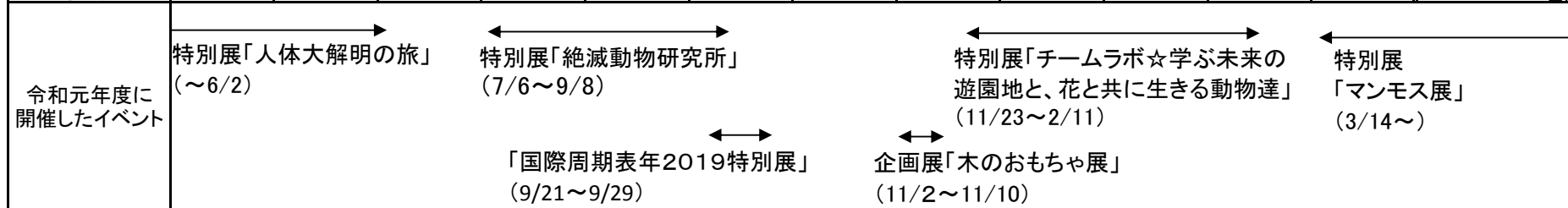
<令和元年度コメント>

- ・令和元年度の来館者数は40,913人である。新型コロナウイルスにより2020年3月より臨時休館が続いている。
- ・令和元年度2月までの来館者前年比102%(975人増)であった。来館者割合の個人が6割、団体が4割で団体より個人来館者が上回った。
- ・令和元年度には、年2回の薬草園フェスタ、薬草園講演会、日本の英国伝統石積み(ドライストーンウォーリング)等行った。また体験できるラベンダー摘み取りとスティック作りや雛人形を作るイベントを開催したり毎年恒例のクリスマスコンサートは定員いっぱいとなった。
- ・講演会は関心の高い認知症サポーター養成講座とした講演会を年10回開催した。イベント内容やイベントを増やし、また講演のテーマの工夫、自治体との連携などが来館者増に繋がった。

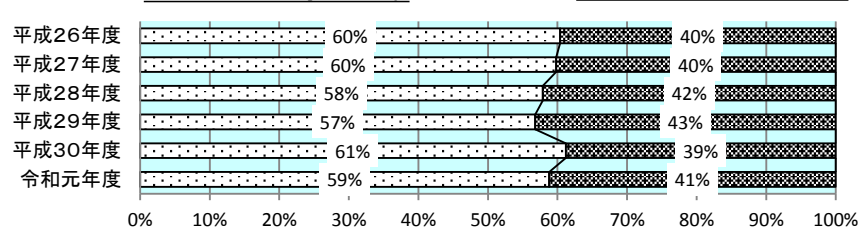


総入館者数

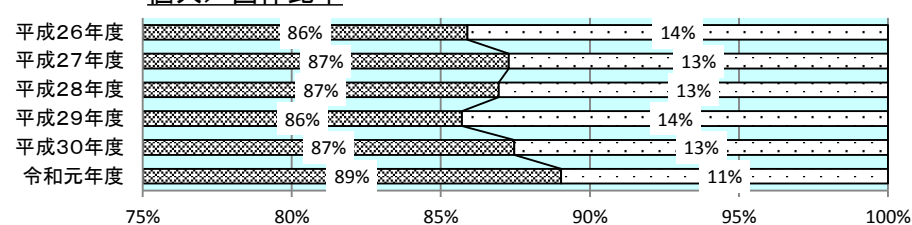
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	112,280	131,580	90,980	118,291	240,107	75,329	86,989	136,283	107,093	100,431	76,455	118,185	1,394,003
平成27年度	102,062	125,564	71,888	114,822	219,799	76,804	75,103	155,536	114,090	100,245	105,884	120,478	1,382,275
平成28年度	93,465	123,840	96,145	111,272	189,767	85,397	85,556	110,834	123,122	132,410	109,835	117,653	1,379,296
平成29年度	100,499	123,645	68,209	106,705	193,058	79,364	85,137	88,030	73,372	93,046	96,594	111,757	1,219,416
平成30年度	105,241	121,721	97,233	133,443	240,470	130,991	78,186	75,830	78,007	98,322	88,056	106,969	1,354,469
令和元年度	95,906	113,530	87,252	135,360	222,116	88,870	86,879	70,550	142,053	161,869	124,482	0	1,328,867
対前年比	-9%	-7%	-10%	1%	-8%	-32%	11%	-7%	82%	65%	41%	-100%	-2%



大人／小人・学生比率

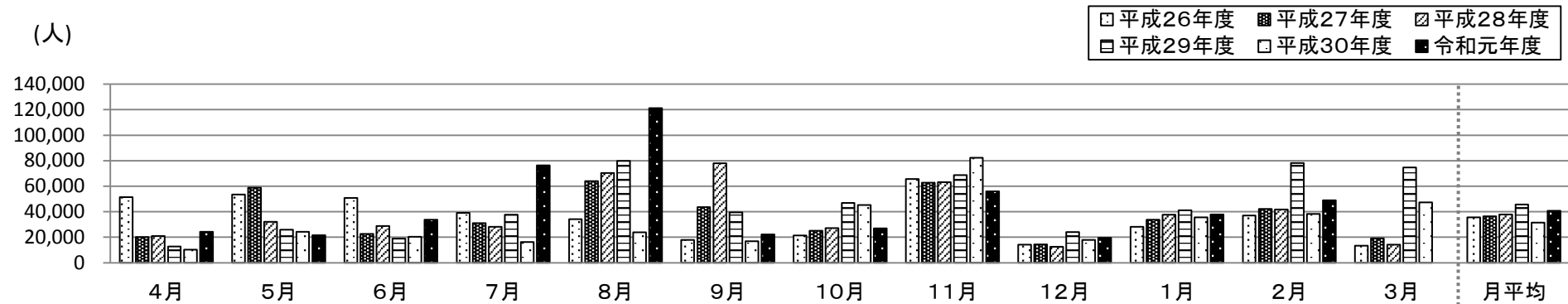


個人／団体比率



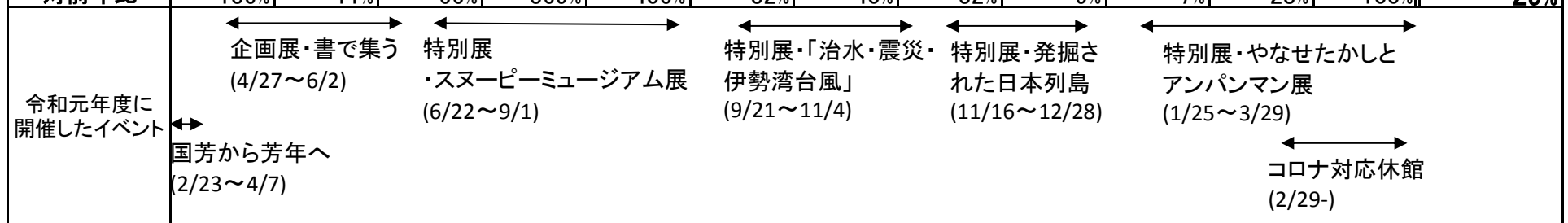
<令和元年度コメント>

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2月29日から臨時休館し、3月の入館者数は0であったが、特別展「チームラボ」の入場者数が20万人を超えるなどにより、前年度からの減少が25,602人に留まった。

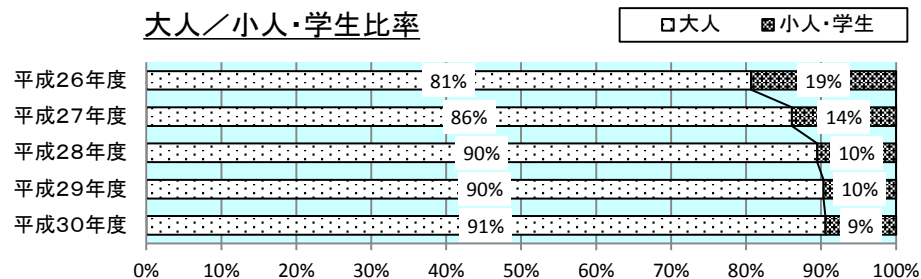


総入館者数

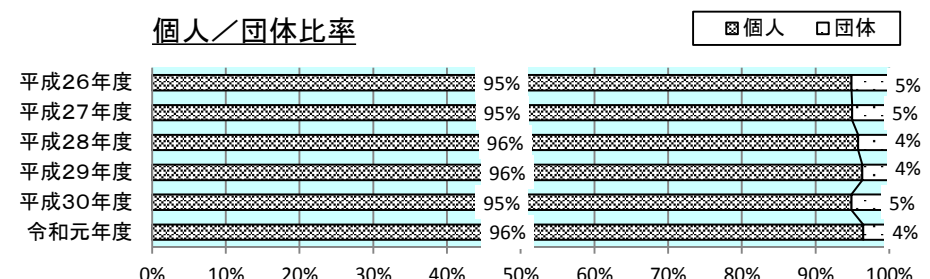
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	51,532	53,486	50,771	38,998	34,103	17,840	21,360	65,649	14,205	28,131	37,062	13,381	426,518
平成27年度	20,206	58,801	22,590	30,978	64,076	43,632	25,170	62,804	14,379	33,666	42,135	19,113	437,550
平成28年度	20,956	32,174	28,732	28,190	70,356	77,969	27,242	63,101	12,625	37,713	41,723	14,179	454,960
平成29年度	12,751	25,868	19,013	37,639	79,796	39,598	46,835	68,627	23,976	41,070	78,197	74,605	547,975
平成30年度	10,254	24,327	20,372	16,264	23,935	16,916	45,271	82,211	17,930	35,499	38,190	47,368	378,537
令和元年度	24,239	21,688	33,720	76,256	121,150	22,306	26,994	56,053	19,543	37,865	48,958	0	488,772
対前年比	136%	-11%	66%	369%	406%	32%	-40%	-32%	9%	7%	28%	-100%	29%



大人／小人・学生比率

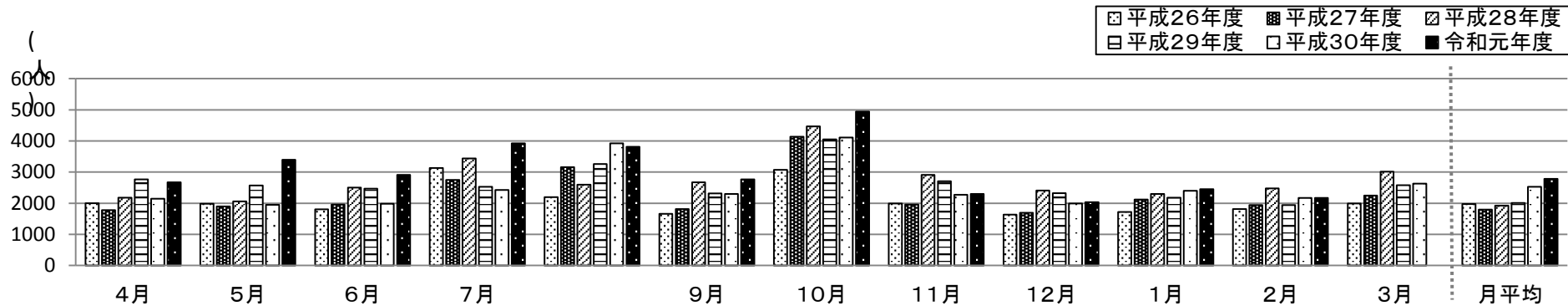


個人／団体比率



<令和元年度コメント>

・2019年度は、年度末の2月29日以降、新型コロナウイルス感染症対策のため全面休館となり、3月度入館者数が0であったが、6月22日～9月1日期间開催をした特別展・スノーピーミュージアム展の来館者数が名古屋市博物館歴代3番目記録となり年間来館者数については前年度比29%UPの488,772人であった。

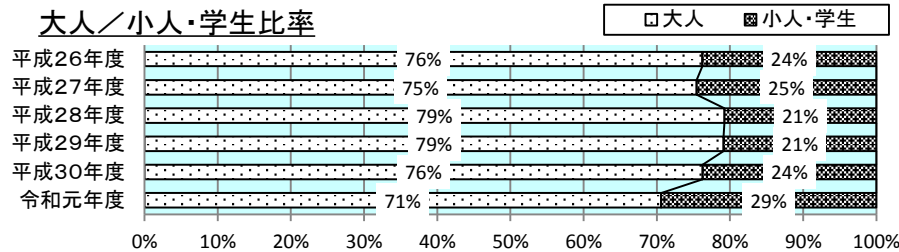


総入館者数

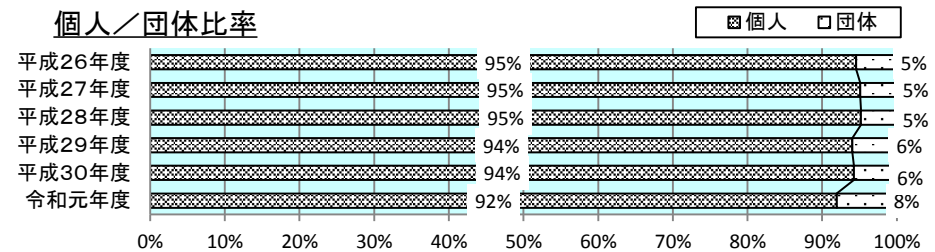
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	1,998	1,983	1,807	3,132	2,195	1,663	3,073	1,994	1,632	1,722	1,812	1,988	24,999
平成27年度	1,781	1,894	1,960	2,747	3,158	1,812	4,138	1,959	1,691	2,119	1,942	2,243	27,444
平成28年度	2,178	2,063	2,501	3,442	2,593	2,672	4,470	2,911	2,407	2,300	2,480	3,013	33,030
平成29年度	2,766	2,573	2,465	2,528	3,262	2,312	4,055	2,710	2,326	2,177	1,940	2,575	31,689
平成30年度	2,144	1,947	1,983	2,425	3,926	2,295	4,115	2,270	1,988	2,399	2,170	2,632	30,294
令和元年度	2,670	3,399	2,911	3,922	3,817	2,766	4,942	2,299	2,031	2,449	2,167	0	33,373
対前年比	25%	75%	47%	62%	-3%	21%	20%	1%	2%	2%	0%	-100%	10%



大人／小人・学生比率



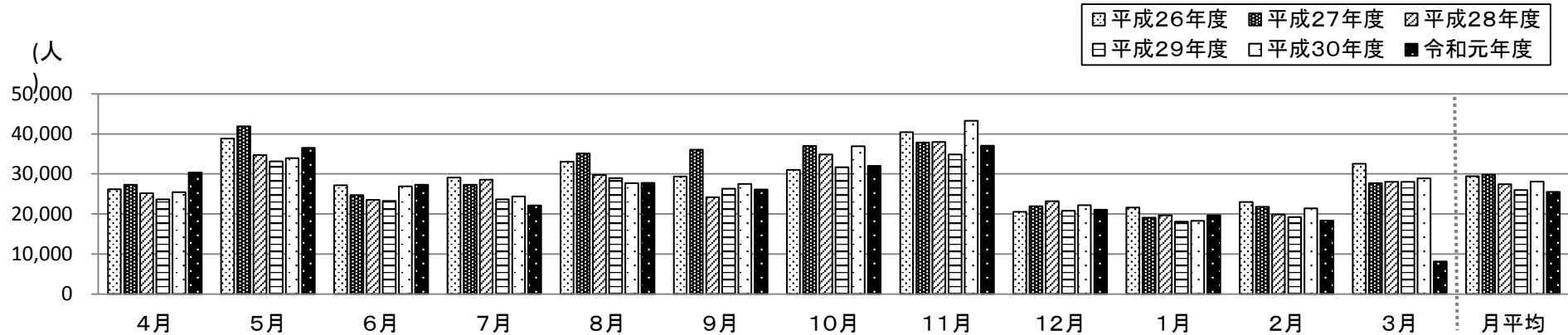
個人／団体比率



<令和元年度のコメント>

【昨年度比較】

- ・令和元年度の総入館者数は、新型コロナウイルスの影響で2/29から3/31まで臨時休館としておりましたが、前年度から約10%増加いたしました。入館者数増加の要因としては、昨年5月に東海テレビ「ぐっさん家」で当館が紹介されたことが影響していると思われます。
- ・イベントの開催状況につきましては、前年度同様に夏と秋に開催しております。
- ・イベント開催時の入館者は前年度に比べ夏休みフェスティバルでは約10%減少(期間中、台風の日があったため)、秋フェスティバルでは約8%増加いたしました。
- ・団体見学者数は前年度と比べ約55%増加し、小中学校の訪問数も約5%増加しました。

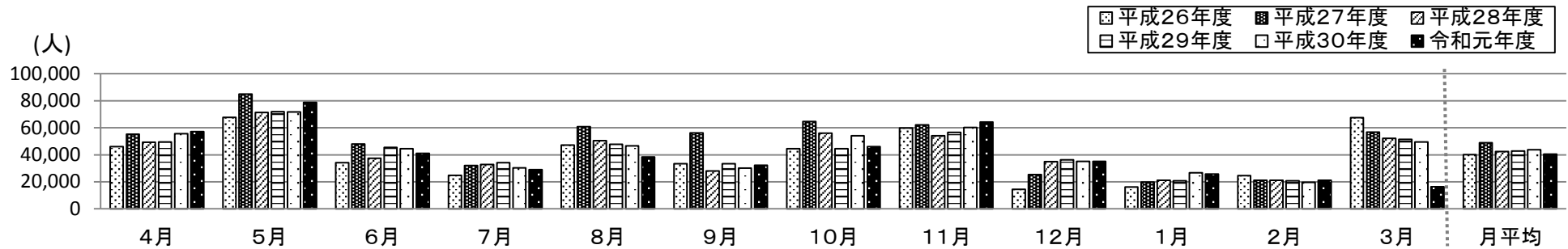


総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	26,157	38,844	27,186	29,103	33,053	29,389	30,990	40,467	20,506	21,613	23,014	32,566	352,888
平成27年度	27,283	41,884	24,722	27,297	35,149	36,055	36,974	37,850	21,928	19,060	21,803	27,725	357,730
平成28年度	25,200	34,709	23,507	28,544	29,735	24,167	34,838	37,982	23,216	19,681	19,857	28,030	329,466
平成29年度	23,684	33,159	23,228	23,648	28,947	26,300	31,652	34,889	20,780	18,049	19,230	28,039	311,605
平成30年度	25,452	33,969	26,920	24,392	27,717	27,519	36,895	43,316	22,215	18,259	21,374	28,926	336,954
令和元年度	30,350	36,552	27,310	22,143	27,753	26,140	31,991	37,041	21,037	19,660	18,341	8,146	306,464
対前年比	19%	8%	1%	-9%	0%	-5%	-13%	-14%	-5%	8%	-14%	-72%	-9%

令和元年度に開催したイベント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 森の鯉のぼり(4初旬～5/末) ■ 屋外イベント: Go Green Market(4/27～4/29) 森のピクニックガーデン(5/3-5/4)、館外絵付け体験(5/3-5/5) ■ ミュージウム企画展「大倉孫兵衛、和親お役の偉業展」(9月から1年間) ■ クリスマスイルミネーション(11/10-12/25) ■ 大親王揃展示(1/3-3/末)
----------------	--

<令和元年度コメント>
 ・2019年度ノリタケの森総来場者数306,464人(前年比91.0%)、クラフトセンター(ミュージウム)入館者数80,972人(前年比93.2%)。
 ・普通車の来場台数は前年比102.0%、バスの台数は94.8%。
 ・中国武漢で発生したコロナウィルスの影響は1月末の春節から始まり3月は非常に大きなものとなり、3月の入園者は前年比28%、クラフトセンター(ミュージウム)は前年比22%と大きく落ち込んだ。



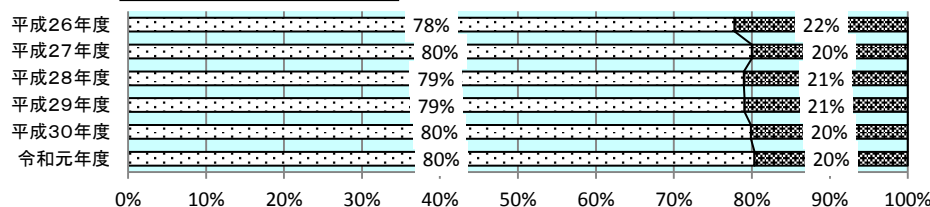
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	46,133	67,719	34,122	24,719	47,254	33,453	44,583	59,913	14,490	16,125	24,613	67,459	480,583
平成27年度	55,308	84,975	47,950	32,071	60,801	56,207	64,712	62,056	25,356	19,802	21,086	56,746	587,070
平成28年度	49,386	71,350	37,413	32,749	50,483	28,057	56,051	54,002	34,839	21,202	21,047	52,119	508,698
平成29年度	49,565	71,974	45,542	34,151	47,754	33,429	44,442	56,533	36,200	20,763	20,770	51,410	512,533
平成30年度	55,558	71,776	44,568	30,362	46,622	30,138	54,099	60,146	35,063	26,690	19,563	49,553	524,138
令和元年度	57,236	78,798	40,991	28,984	38,421	32,228	46,092	64,189	35,150	25,767	21,176	16,353	485,385
対前年比	3%	10%	-8%	-5%	-18%	7%	-15%	7%	0%	-3%	8%	-67%	-7%

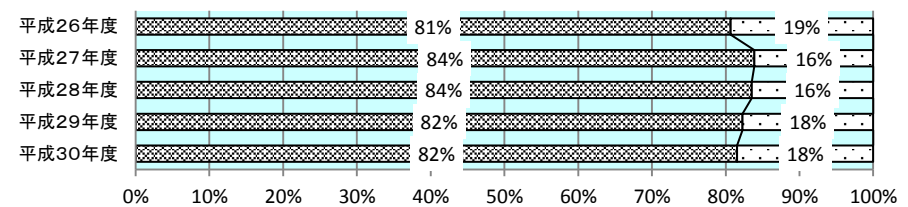
令和元年度に開催したイベント

- ・3/2～7/21 謎解きアトラクション「明治探偵GAME～千里眼の男～」
- ・3/23～5/19 TVアニメ「ゴールデンカムイ」パネル展示
- ・8/3～9/1の土日祝及び8/13～16 「宵の明治村」(ナイター営業)の開催
- ・8/1～12/15 特別展「剣心が見た幕末、新時代の到来」開催
- ・9/11～12/15「博物館明治村×るろうに剣心×リアル脱出ゲーム 修羅潜む京都からの脱出」の開催
- ・11/2～2020.1/13の土日祝及び1/2・3 ※1/1を除く「きらめき明治村」(イルミネーション)の開催
- ・1月～2月末 建物ガイドキャンペーン(景品つき)、「明治探偵GAME」の番外編「明治探偵GAME はじまりの事件」(謎解きアトラクション)、「明治東京恋伽」とのコレボレーションイベントの開催
- ・2020.3/20～ 謎解きアトラクション「明治探偵GAME」、明治村開村55周年記念展示「中日新聞で振り返る博物館明治村の55年展」、品川燈台創建150年記念展示「燈台模型展」を開催

大人／小人・学生比率



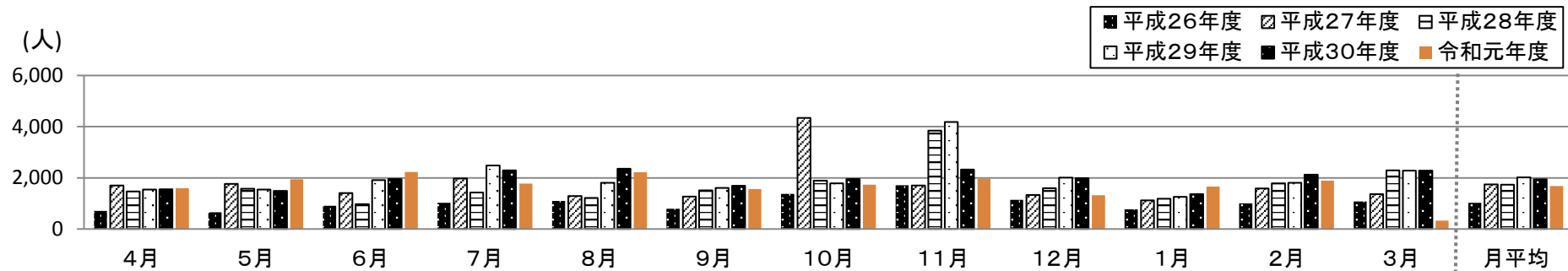
個人／団体比率



<令和元年度コメント>

- ・夏から秋にかけて人気コミックス「るろうに剣心—明治剣客浪漫譚—」、「るろうに剣心—明治剣客浪漫譚・北海道編—」との連動イベントにより、多くの方々が来村いただけた。
- ・2月～3月にかけて新型コロナウイルスの影響により、遠足などの行楽客を獲得することができず入村者数は伸び悩んだ。

※2020. 3/2～19は臨時休村



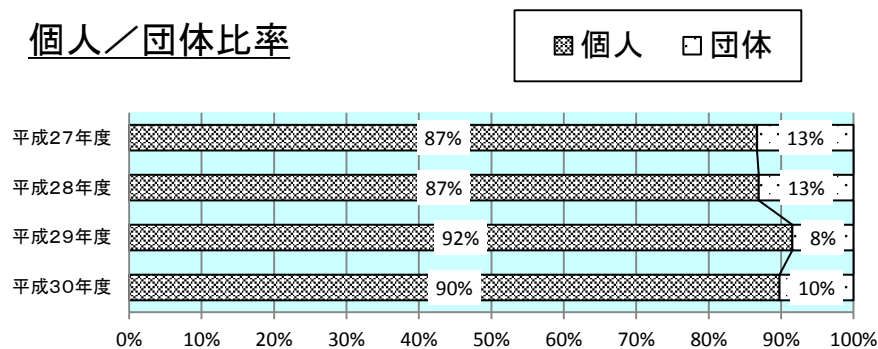
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	701	655	907	1,022	1,095	794	1,372	1,705	1,144	767	999	1,071	12,232
平成27年度	1,700	1,768	1,404	1,976	1,292	1,267	4,347	1,696	1,333	1,117	1,585	1,357	20,842
平成28年度	1,470	1,569	965	1,426	1,218	1,505	1,891	3,847	1,590	1,186	1,789	2,288	20,744
平成29年度	1,538	1,543	1,908	2,478	1,802	1,607	1,789	4,190	2,007	1,250	1,806	2,285	24,203
平成30年度	1,551	1,487	1,950	2,294	2,359	1,687	1,954	2,321	1,989	1,360	2,118	2,276	23,346
令和元年度	1,592	1,944	2,233	1,769	2,218	1,557	1,726	1,965	1,317	1,653	1,888	326	20,188
対前年比	3%	31%	15%	-23%	-6%	-8%	-12%	-15%	-34%	22%	-11%	-86%	-14%

令和元年度に開催したイベント

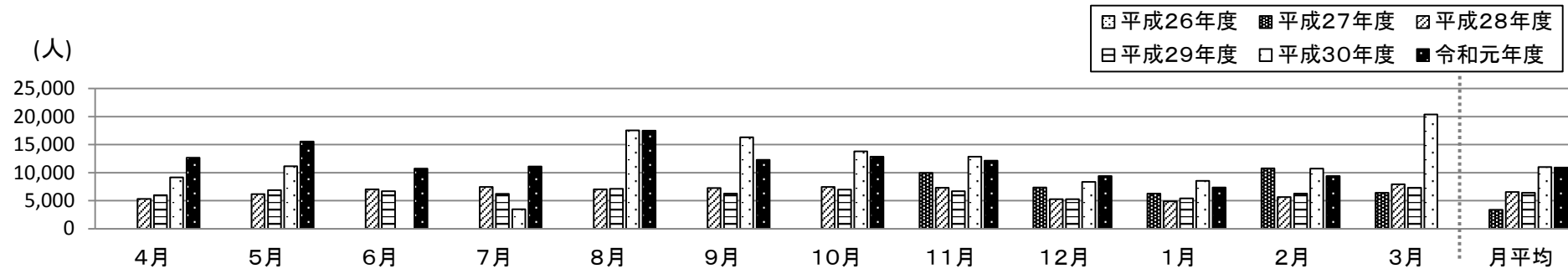
- ▲モノ創り教室
- ▲社内イベント開催
- ▲学童向けイベント
- ▲来館者累計20万人達成
- ▲モノ創り教室
- ←→ 改装のため休館 (12/16-1/16)
- ←→ コロナ休館 (2/29--)

個人／団体比率



<令和元年度コメント>

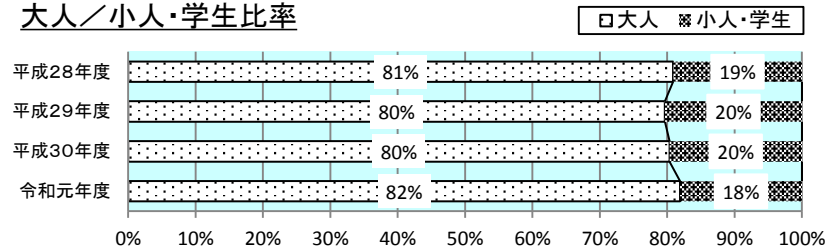
・改装に伴う休館(12/16-1/15)、およびコロナウイルス感染防止のため休館(2/29~)により、昨年より入館者数は減少。



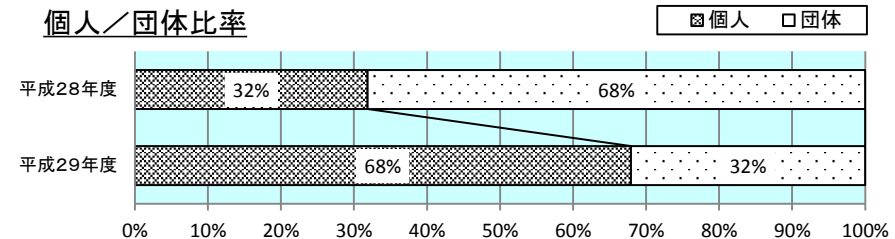
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	9,985	7,335	6,269	10,747	6,390	40,726
平成28年度	5,315	6,189	7,041	7,462	7,044	7,260	7,457	7,320	5,272	4,910	5,641	7,939	78,850
平成29年度	5,980	6,867	6,688	6,224	7,112	6,254	6,978	6,672	5,288	5,406	6,259	7,301	77,029
平成30年度	9,145	11,126	0	3,465	17,548	16,293	13,809	12,836	8,343	8,521	10,738	20,399	132,223
令和元年度	12,644	15,566	10,741	11,107	17,510	12,294	12,864	12,144	9,394	7,365	9,416	0	131,045
対前年比	38%	40%	-	221%	0%	-25%	-7%	-5%	13%	-14%	-12%	-100%	-1%
自由見学入館者数	2,034	8,004			4,567				3,688				18,293
令和元年度に開催したイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・春の山車まつり自由見学 4/21 ・Night Museum (8/9-10) ・冬の自由見学 (12/8) ・ゴールデンウィーク自由見学 (5/3-5/5) ・夏の自由見学 (8/13-14) ・半田工業高校生徒作品展 (5/10-5/26) ・お寿司と浮世絵展 (10/4-10/29) ・吊るし雛展 (2/14-3/3) ・納豆企画展 (6/1-6/30) ・野菜とデザイン展 (11/4-11/1) ・海がつなぐ人びとの暮らし展 (7/6-7/21) ・半田発見！フォト絵画展 (12/6-12/15) ・水の学校、水の文化祭(8/2-9/29) ・酔っごい展 樽を知る (1/9-2/10) 												

大人／小人・学生比率



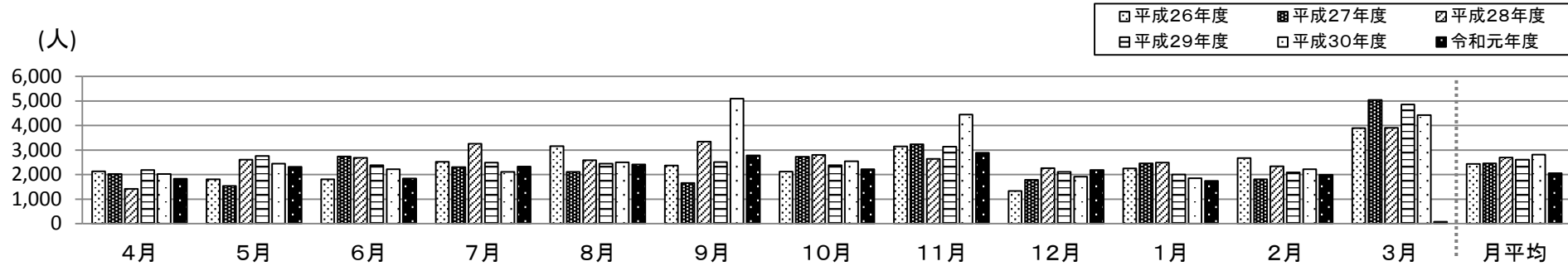
個人／団体比率



<令和元年度コメント>

・2020年2月29日より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館。

・自由見学時の来館者数は、大人・子供の区分けがございません。
(4月に2034人、5月に8004人、8月に4567人、12月に3688人)

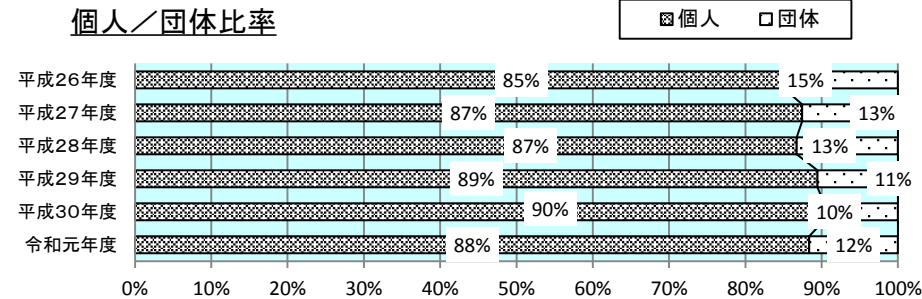


総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	2,135	1,809	1,812	2,521	3,163	2,372	2,121	3,145	1,333	2,248	2,670	3,897	29,226
平成27年度	2,023	1,536	2,739	2,304	2,107	1,661	2,725	3,236	1,790	2,456	1,811	5,042	29,430
平成28年度	1,418	2,612	2,689	3,258	2,591	3,346	2,799	2,641	2,266	2,486	2,338	3,908	32,352
平成29年度	2,181	2,756	2,377	2,494	2,443	2,513	2,382	3,141	2,109	2,004	2,090	4,863	31,353
平成30年度	2,028	2,441	2,219	2,113	2,500	5,093	2,542	4,448	1,918	1,848	2,215	4,430	33,795
令和元年度	1,831	2,315	1,837	2,332	2,412	2,784	2,215	2,891	2,187	1,741	1,995	76	24,616
対前年比	-10%	-5%	-17%	10%	-4%	-45%	-13%	-35%	14%	-6%	-10%	-98%	-27%

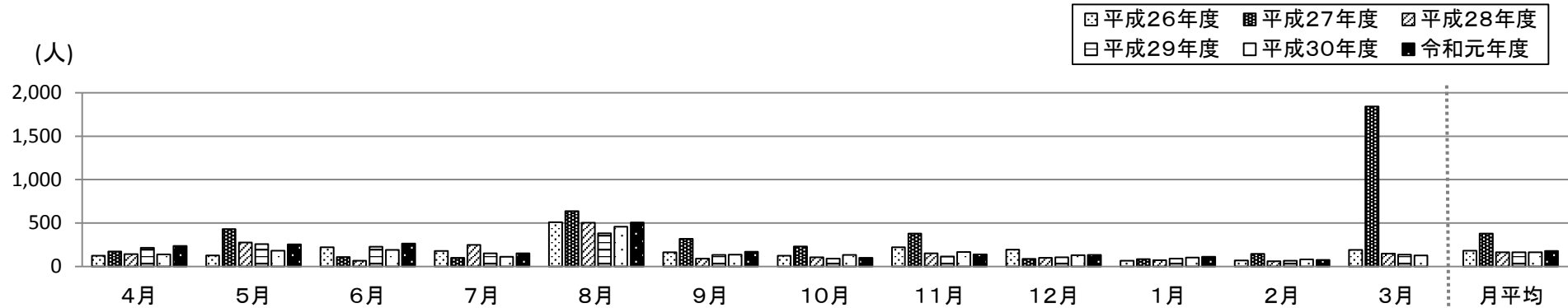
令和元年度に開催したイベント

○歌川広重の浮世絵企画展下記の通り実施
 4月1日～5月12日 「東海道五拾三次」
 5月14日～7月21日 「花鳥版画」
 7月23日～9月29日 「富士三十六景」
 10月1日～12月1日 「双筆五十三次」
 12月3日～2月16日 「六十余州名所図会【前期】」
 2月18日～3月31日 「六十余州名所図会【後期】」(但し3月3日より臨時休館)



<令和元年度コメント>

- ・前年対比来館者数▲9,179人(72.8%)と大幅減少。減少要因は新型コロナウイルスの感染防止による約1ヶ月の臨時休館と鉄道会社のウォーキングイベントが中止となったため。
- ・一方で浮世絵展示を目的に来館したお客さまは1ヶ月臨時休館したにもかかわらずほぼ横這いの水準であった。



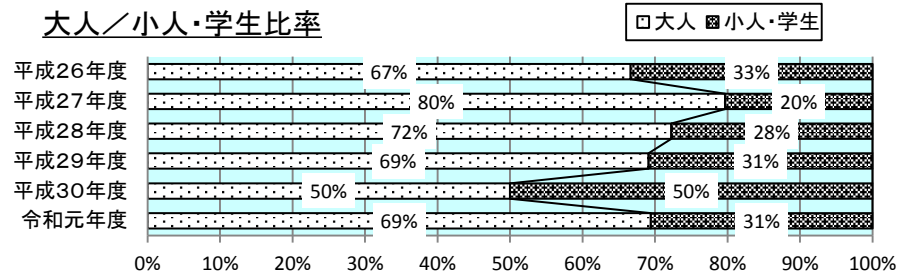
総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	123	128	220	178	511	163	123	220	195	67	69	191	2,188
平成27年度	173	432	109	100	638	319	230	378	88	85	144	1,841	4,537
平成28年度	143	276	68	250	505	92	105	151	100	72	60	148	1,970
平成29年度	215	257	228	153	382	134	91	115	105	91	68	136	1,975
平成30年度	138	182	190	113	457	136	133	168	130	103	83	126	1,959
令和元年度	236	254	263	152	508	171	100	139	134	112	77	0	2,146
対前年比	71%	40%	38%	35%	11%	26%	-25%	-17%	3%	9%	-7%	-100%	9.5%

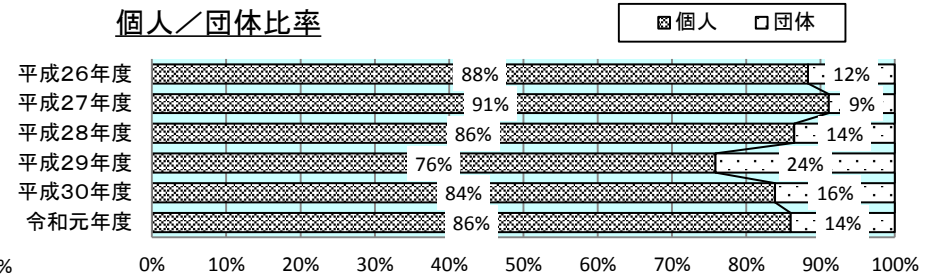
令和元年度に開催したイベント

← 特別展「パノラマカーラストランから10年写真展」(5/27~9/30) →

大人／小人・学生比率



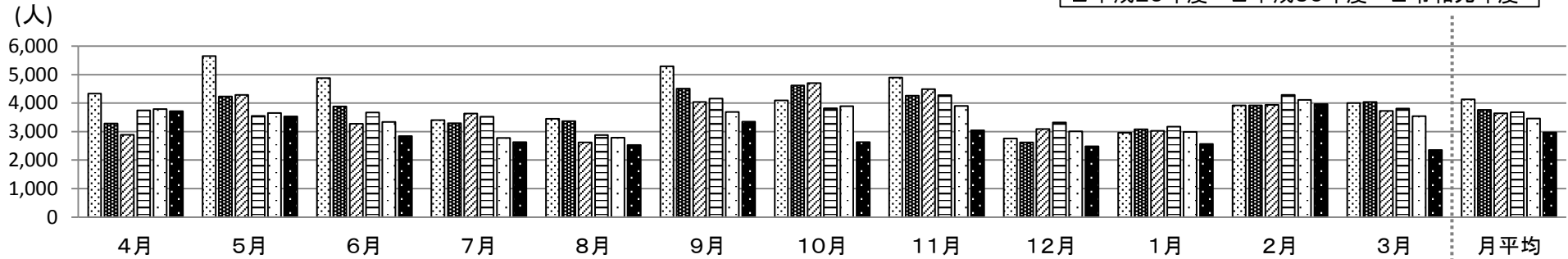
個人／団体比率



<令和元年度コメント>

・一般入場者数は前年度とほぼ同等であるが、社内での利用が前年度147%となり全体の入館者数が増加した。

平成26年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度
 平成30年度
 令和元年度



総入館者数

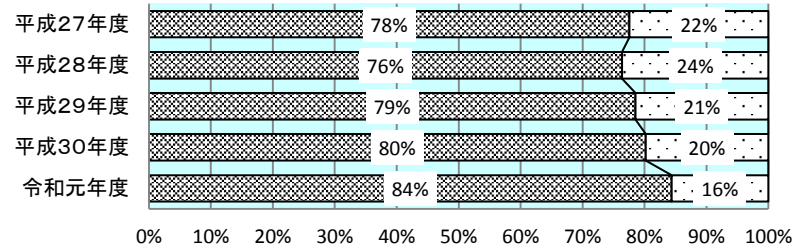
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	4,330	5,650	4,880	3,400	3,450	5,290	4,090	4,890	2,760	2,960	3,920	4,000	49,620
平成27年度	3,280	4,230	3,880	3,290	3,370	4,510	4,620	4,260	2,620	3,080	3,920	4,040	45,100
平成28年度	2,890	4,290	3,270	3,630	2,620	4,040	4,700	4,490	3,090	3,030	3,940	3,730	43,720
平成29年度	3,740	3,550	3,670	3,520	2,880	4,160	3,820	4,280	3,318	3,170	4,290	3,810	44,208
平成30年度	3,790	3,650	3,340	2,780	2,790	3,690	3,890	3,900	3,010	2,990	4,110	3,540	41,480
令和元年度	3,720	3,530	2,840	2,630	2,530	3,350	2,630	3,040	2,480	2,570	3,962	2,355	35,637
対前年比	-2%	-3%	-15%	-5%	-9%	-9%	-32%	-22%	-18%	-14%	-4%	-33%	-14%

令和元年度に開催したイベント

2020年2月9日盛田(株)小鈴谷工場にて、ねのひ蔵開き開催。

個人／団体比率

個人
 団体



<令和元年度コメント>

・入館者数減少傾向が続いている。2020年3月は新型コロナウイルス影響による減少あり(団体なし)。

(人)

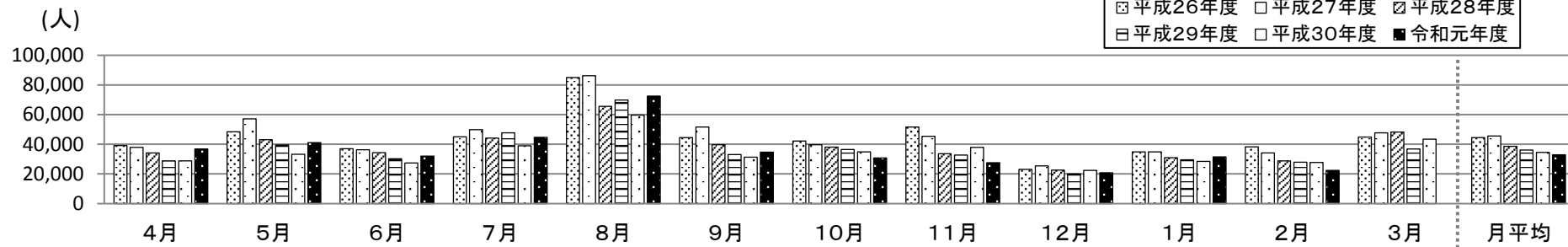


総入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年度に開催したイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・11月2日開業、ただし3月2日から臨時休館(5月22日まで) ・ワークショップを開催 ・モノづくり体験として、文鎮(ぶんちん)づくり(やすり掛け、きさげ作業、ねじきり、テイキン打ちなど)、講師は現代の名工、高度熟練者業者 ・10歳以上を対象とするも未就学児の参加も多数あり、講師は奮闘 ・今年度はメニューを増やすとともに、小学校など学校からの参加者にも体験してもらえるようPRして、参加者を増やしたい。 												

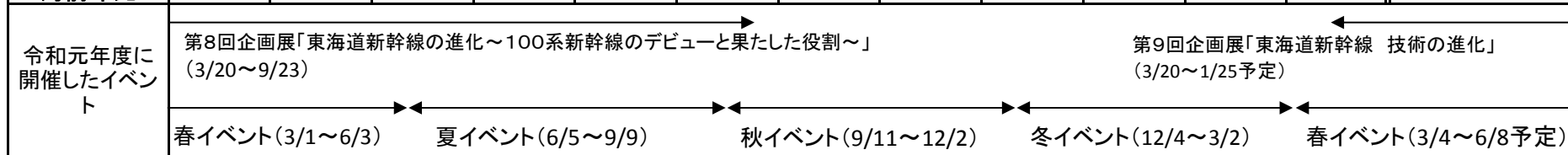
<令和元年度コメント>

- ・一般の入館者は土日に集中。ウィークデイの集客が課題。
- ・団体の集客に向けたPR活動をしていきたい。

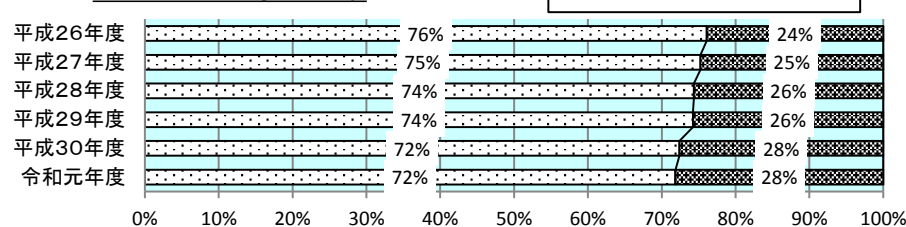


総入館者数

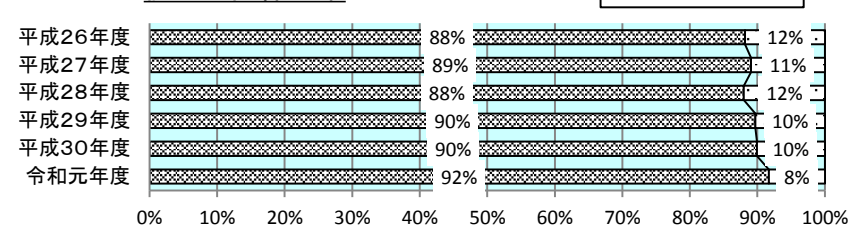
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	39,126	48,397	37,024	45,015	85,063	44,488	42,181	51,603	23,109	34,825	38,258	44,893	533,982
平成27年度	37,942	57,136	36,286	49,866	86,311	51,719	39,624	45,391	25,361	34,854	34,239	47,762	546,491
平成28年度	34,208	43,027	34,351	44,199	65,586	39,612	38,049	33,627	22,613	30,909	28,881	48,316	463,378
平成29年度	28,911	39,564	30,321	47,777	69,858	33,181	36,559	32,821	20,151	29,491	27,928	36,806	433,368
平成30年度	28,738	33,308	27,436	39,046	59,616	31,325	34,944	37,975	22,443	28,516	27,816	43,403	414,566
令和元年度	36,793	41,167	32,077	44,771	72,418	34,758	30,818	27,631	20,842	31,563	22,420	0	395,258
対前年比	28%	24%	17%	15%	21%	11%	-12%	-27%	-7%	11%	-19%	-100%	-5%



大人／小人・学生比率



個人／団体比率



<令和元年度のコメント>

- ・2019年度入館者数は約40万人、累計で約521万人。
- ・1月までの入館者数は前年を上回っていたが、2月以降は新型コロナウイルスの影響が顕著に表れ、前年比約95%となった。
- ・幼児から小学校低学年のお子様を含めた2～3世代のご家族連れが多い。
- ・来館者は、東海地区が最も多く、外国人旅行者は全体の約11%を占め増加傾向。
- ・様々なイベントを開催(新幹線の運転台公開等)する中で、新幹線前頭オオイの特別開放などを実施。
- ・沿線地域の小学校、自治体などで「出張授業」を実施(小学生向けに模型等を使用して磁石の性質を楽しく学ぶもの。費用は無料)。
- ・夜間の貸切開館を実施。

第89回 産業観光推進懇談会（AMIC） コロナ禍への対応アンケート

調査期間：2020年6月5日～6月24日

調査方法：各館へアンケート回答サイトのURLをメールし回答を回収

有効回答数：19館／30館（有効回答率63.3%）

1. コロナ禍による臨時休館時期について

<臨時休館開始時期（数字は館数）>

2月下旬	7
3月上旬	6
3月中旬	
3月下旬	
4月上旬	1
4月中旬	4
4月下旬	
休館なし	1

<再開時期（数字は館数）>

5月中旬	4
5月下旬	4
6月上旬	3
6月中旬	3
6月下旬	1
時期未定	3
休館なし	1

2. コロナ禍に対する健康・衛生面への取り組みについて（数字は館数）

- (1) スタッフの健康状態管理の徹底 19
 (2) 施設の衛生管理の徹底 18
 (3) 来場者の入場口等での健康チェック 11
 (4) 館内の感染を防ぐ注意点等の提示 7
 (5) その他

<感染予防対策>

- ・マスク着用の呼びかけとマスクの配布
- ・入館時の手指消毒。アルコール消毒液設置と来場者への使用の推奨
- ・サーモカメラによる検温
- ・窓口での飛沫感染防止のためのアクリルパネルの設置等

<情報発信>

- ・HPでの情報発信
 （マスクの着用、発熱者等の来園禁止のお願い、入場制限の可能性等）

3. 三密回避への取り組み（数字は館数）

- | | |
|----------------------------|----|
| (1) 入場の人数制限の設定 | 19 |
| (2) 施設の定期的な換気 | 15 |
| (3) 体験・アクティビティの少人数化 | 12 |
| (4) 入場の事前予約 | 8 |
| (5) ホームページ・SNSなどによる混雑情報の発信 | 3 |
| (6) その他 | |

<感染予防対策>

- ・密着回避のためのソーシャル・ディスタンシング表示
- ・机・椅子の撤去、閲覧書籍の一部撤去
- ・エレベーター使用制限
- ・体験場所の飛沫防止シート・アクリルボード設置、指導員のフェイスシールド・マスク着用

<削減・見直し>

- ・団体予約・バスツアーの予約受入停止
※7月以降見直し、名古屋市小学校の団体社会見学は9月以降に受け入れ予定)
- ・ボランティアガイドや展示公開プログラム・体験教室等の休止
- ・一部展示施設・人気展示物の閉鎖
- ・開館時間の短縮、土日休館
- ・アテンド形式による密接回避

4. コロナ禍支援施策・制度の活用について（数字は館数）

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 文化施設の感染症防止対策事業 | 4 |
| (2) 雇用調整助成金 | 1 |
| (3) 持続化給付金 | 1 |

5. コロナ禍に対して今後取り組む活動（自由記述）

<強化事業>

- ・コロナ禍対策の広報強化（WEB情報、SNS強化）
- ・コロナ禍対策（3密対策）を前提にした展示・観覧方法の見直し
- ・Go To キャンペーンと連携した施策
- ・地域の観光協会等と連携したPR活動の実施
- ・予約受付の徹底による来館者管理
- ・感染予防対策の徹底
- ・団体客の誘致（地元観光協会との連携）

<削減・見直し>

- ・イベント・体験教室を減らしたり、開催方法を改める
- ・短期集中型から長期分散型イベントへの変更
- ・入館者数制限を行い、運営の知見やノウハウを蓄積する

6. AMIC加盟館同士の連携に対するアイデア、ご要望（自由記述）

- ・各館での対応の状況を随時メールや掲示板等で共有できるとよいと思う。特に感染拡大初期は明確な指針がなく、他館での対応が大変参考になった。困りごとの解決はもとより、良い事例やアイデアの共有ができれば加盟館全体にメリットがある
- ・AMICのウェブサイト을設けて、加盟館の開館状況、コロナ禍への対策等を随時掲載・更新し互いに最新の状況がわかるようにしてはどうか
- ・旅行会社を交えて、モデルコースの有効活用（バスなどとも連携した周遊パック）を企画
- ・社会見学などの学校行事への対応方法を伺いたい
- ・段階的な制限緩和のマニュアルなどの情報があれば知りたい
- ・愛知県内に感染第2波が到来した場合の、休館・再開判断のすり合わせ

7. コロナ禍に対する行政・観光団体等への要望（自由記述）

- ・この経験を反映した、美術館・博物館における対応ガイドラインの策定と公開（休館等の対応を判断する基準が明示されているもの）
- ・コロナ禍対策費への支援
- ・旅行者の感染症予防対策の徹底
- ・各施設の感染拡大予防策の具体的な対応について、取り纏めいただき、共有化してもらえると大変ありがたい
- ・東海三県単位での観光客誘致施策の実現
- ・各旅行業者において、団体ツアー催行時に、参加者の体調確認等の徹底をお願いしたい。具体的には出発前の確認（検温、体調の問診、海外渡航歴の確認）及びツアー中の確認（検温、体調の問診）
- ※日本旅行業協会・全国旅行業協会のガイドラインでは、海外渡航歴の確認がなく、また検温・体調確認は出発前のみ行う想定。（公社）日本バス協会のガイドラインでは、利用者について出発前の体調確認すら求めていない
- ・行政に対しては、感染状況について速やかで正確な情報公開をお願いしたい

8. 今後のAMIC研修会等に対する要望（自由記述）

- ・WEBセミナー研修の実施
- ・感染症対策の新技术（抗菌素材を用いた備品や抗菌コーティングのサービスなど）や、その導入事例についての情報共有
- ・感染状況が落ち着いているのであれば、リモートではなく面着で開催していただきたい
- ・検温という目的を実現するための手段として、必要な機器を購入するにあたり、安価な機器を紹介していただけるとありがたい（実績ある博物館やメーカー）

以上

新型コロナウイルス対策 WEBセミナー開催報告

1. 内 容 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策と
観光施設等におけるBCP・リスク管理のポイント」
2. 配信開始日 令和2年5月12日（火）
3. 配信方法 産業観光推進懇談会（AMIC）YouTubeチャンネルにて
一般公開配信
4. 講 師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲 氏
5. 視聴回数 約332回（6月25日現在）
6. 視聴者の感想（アンケート回答より）

○セミナーの内容について

- ・ポイントを幅広くご説明頂いた。
- ・万一の時に對して日頃からの備えが、いかに重要かが分かった。
人事異動により、担当者に引き継がされていないケースがあると指摘があった。今後担当者が変更となっても良いように対応方法を記録に残すなど、担当者が変わっても困らないようにしたい。
- ・手作り消毒液は手すり等の消毒に是非使ってみたいと思った。
- ・ウイルス対策だけでなく、震災など有事への危機管理を含め、平時からの対策の重要性に触れ、改めて館で行っている防災訓練などに真剣に取り組む重要性を感じた。
- ・感染拡大が一時的に止まった現在、今後考えるべきポイントを知ることができた。

○WEBセミナーについて

- ・自社の従業員などに紹介したいときに情報共有しやすい。
- ・今後もこのようなWEBセミナーを開催してほしい。そうすれば参加できない講演会などの内容も把握でき、スタッフとも情報共有できる
- ・現状の課題にマッチした研修会を今後も期待したい
- ・自己紹介が長く、内容的には1時間で十分



国内外の 旅情報・物産が大集合!

第32回

旅まつり

名古屋
2020

3.14 土 15日 入場無料
AM10:00~PM5:00

開催場所

名古屋市中区栄・久屋大通公園 エディオン久屋広場・エンゼル広場
名鉄瀬戸線「栄町」・地下鉄「栄」「矢場町」下車



にぎやか!!
ステージイベント



踊りの披露



郷土芸能
ご当地キャラ
大集合



武将隊の演武

©2019そにしけんじ・実業之日本社 / 「ねこねこ日本史」制作委員会



「ねこねこ日本史」
織田信長がステージ登場!

旅行の魅力を発見&
体験できるブースが
盛りだくさん



ご当地グルメ・
キッチンカー・
全国の駅弁も大集合!

お楽しみ
スタンプラリー

会場内のスタンプを集めて、
アンケートに答えると
先着で参加賞がもらえる!



さらさら Wチャンス
PRESENT
抽選でホテル食事券などの豪華商品が当たる!

EVENT JR東海さわやか
3/15 ウォーキング
SUN.

受付時間:8:30~11:00
スタート:JR大曽根駅 ゴール:旅まつり会場

主催◆旅まつり名古屋実行委員会

主催構成◆日本観光振興協会、東海旅客鉄道、名古屋鉄道、近畿日本鉄道、中日新聞社、名古屋商工会議所、名古屋市、名古屋観光コンベンションビューロー
特別協賛◆名鉄観光サービス、東武トップツアーズ、近畿日本ツーリスト中部、日本旅行、JTB、日本旅行業協会(JATA)中部支部、愛知県バス協会

旅まつり名古屋実行委員会事務局(名古屋観光コンベンションビューローおもてなしグループ内)

TEL:052-202-1677 FAX:052-231-0922



お出かけには公共交通機関をご利用ください。



旅まつり

名古屋
2020



出展予定団体

愛知県尾張広域観光協議会	甲賀市観光協会	長野県観光部
愛知県観光協会	皓介	長野市
明石海峡周辺地域連携会議	高知県	名古屋商工会議所
熱海市観光経済課	佐賀県関西・中京事務所	名古屋鉄道グループ
奄美大島	シーザーズエンターテインメント	名古屋テレビ塔・東山スカイタワー・ツインアーチ138・水と緑の館展望タワー
奄美群島観光物産協会	JR四国	名古屋港水族館
阿波市	JR東海	奈良県
石川県観光連盟	JB本四高速	日韓5港湾都市連絡会
伊勢熊野観光連絡協議会	滋賀県東近江市・三重県いなべ市	日本観光振興協会
茨城県・栃木県・群馬県	島根県	日本郵便
射水市ふるさと物産協議会	Shanti ban	日本旅行業協会 旅まつり名古屋 特別協賛 旅行会社
イワナセンター・溪流亭	信州須坂	忍者修行の里 三重県名張市
上田地域観光協議会	信州+8プロジェクト	ネバダ州観光局
魚津市観光協会	スカイマーク	能登半島 珠洲市
越前美濃街道広域観光交流推進協議会	スターフライヤー	信長攻路(名古屋観光コンベンションビューロー)
大台町観光協会	スリランカ大使館	bto 釜山観光公社
岡山県	清流の国ぎふ	姫路市・赤穂市・たつの市
沖縄観光コンベンションビューロー	瀬戸内四都市広域観光推進協議会	ひょうご観光本部
おんせん県おおいた	戦国ワンダーランド 滋賀・びわ湖	広島市・呉市・岩国市・松江市・江津市(中国広域観光連絡協議会)
おんたけ休暇村	ソラシド エア	フィリピン共和国政府観光省
鹿児島県大阪事務所	タイ国政府観光庁	フェリーさんふらわあ
鹿児島県さつま町	大山山麓・日野川流域観光推進協議会	福島県名古屋事務所
鹿児島屋台村	大丹波観光推進委員会	富士地域観光振興協議会
鹿児島県四地区観光連絡協議会(鹿児島市・指宿市・霧島市・南九州市)	台湾観光局・台湾観光協会	ブランドUSA
韓国観光公社	タヒチ観光局	ベトナム航空
木曾おんたけ観光局	チェコ共和国	マリアナ政府観光局(サイパン)
北アルプス山麓 大町・白馬・小谷	中国駐大阪観光代表処	南アフリカ観光局
北東北三県名古屋合同事務所	中国文化センター	宮崎県
岐阜観光コンベンション協会	敦賀観光協会	屋久島町
岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会	東海キヨスク	山形県
岐阜県東白川村	東京観光財団	山梨県
霧島酒造	東京諸島観光連携推進協議会	歴史とさくらのまち 岡崎
近畿日本鉄道	十津川村観光協会	和歌山県観光連盟
グアム政府観光局	鳥取県	【キッチンカー】
郡上市観光連盟	鳥取中部観光推進機構	伊勢甘タレ唐揚げ
Good Day北海道	富岡市観光協会	ECLAT GELATERIA
黒部・宇奈月温泉観光局	とやま観光推進機構	清水もつカレー
K&B八ヶ岳スモーク	富山県小矢部市	味仙
県営名古屋空港協議会	ドリームクルーズ	諭吉のからあげ
	長崎県観光連盟	

出演予定ご当地キャラ

アヒル隊長	霧島市(鹿児島県)	きてけろくん	山形県	坂本龍馬くん	高知県	のとドン	石川県
アルクマ	長野県	きときと君	富山県	さつまるちゃん	さつま町(鹿児島県)	花笠マハエ	沖縄県
あわ神	淡路市(兵庫県)	キビタン	福島県	しまねっこ	島根県	はばタン	兵庫県
いぶりONE	北海道	キャプフィー	滋賀県	しろまるひめ	姫路市(兵庫県)	ビーバー	石川県
ウォー太郎	黒部市(富山県)	キャプテンたちばな	東海汽船(東京都)	西郷どん	鹿児島市	まるりん	屋久島町(鹿児島県)
うめぼ〜や	いなべ市(三重県)	キュンちゃん	北海道	たかびよん	高島市(滋賀県)	ミナモ	岐阜県
おおまびよん	大町市(長野県)	郡上良良ちゃん	郡上市(岐阜県)	チャミー	大台町(三重県)	みやざき犬	宮崎県
オカざえもん	岡崎市(愛知県)	くねんワン	神崎市(佐賀県)	つっちー&のこりん	東白川村(岐阜県)	宮坊	大台町(三重県)
おがっさい	大垣市(岐阜県)	くりぴー	王滝村(長野県)	壺侍	佐賀県	ミラたん	魚津市(富山県)
お茶むらい	南九州市(鹿児島県)	ぐりぶー	鹿児島県	トゥレツポん	北海道	メルギューくん	小矢部市(富山県)
お富ちゃん	富岡市(群馬県)	くろにょん	長野県	とちまるくん	栃木県	メルモモちゃん	小矢部市(富山県)
かんなちゃん	須坂市(長野県)	くろべえ&でんちゃー	黒部峡谷鉄道	トリピー	鳥取県	わたる	JB本四高速
がんばくん	長崎県	ぐんまちゃん	群馬県	なごびよん	県営名古屋空港	わん丸君	犬山市(愛知県)
かんむりん	神津島(東京都)	郷土くん	十津川村(奈良県)	こんじゃえもん	甲賀市(滋賀県)		

※ご当地キャラ名横の[道県名]は出身地を表すもので、必ずしも所属自治体名ではありません
 ※掲載情報は2020年2月7日現在のもので、出展者・出演者については予告なく変更になる場合がございます。

ものづくり文化再発見！ウォーキング について

(2020年7月)

目的：手軽な健康レジャーであるウォーキングを通じて、日本の近代産業の発展を支えてきた多くの産業文化財や街に点在するものづくり文化に触れて、愉しんで頂き、地域の魅力を再発見してもらうことを目的に開催。併せて、地元の産業観光に対する認識を深めることも目的とする。

主催：ものづくり文化再発見！ウォーキング実行委員会

（構成：愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、(公社)日本観光振興協会中部支部、
(一社)愛知県観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、
(株)カーネルコンセプト

事業概要：産業観光の一環として、県内の街に点在する産業文化財や工場、工房などをめぐり、ものづくり文化と街の魅力を再発見するウォーキングイベント。
立ち寄りスポットでは専門家が詳しく解説し、参加者の知的好奇心に応えることを重視している。

開催実績：

開催回	開催日	コース	参加者数
第1回	2009/5/31(日)	開府400年の前年。築城とものづくりを支えた「堀川」から産業技術記念館へのコース(約13km)	123名
第2回	2009/6/20(土)	「学」と「楽」の町を見ながら歩く「鶴舞～東山動植物園」コース(約8km)	172名
第3回	2009/11/29(日)	醸造と航空機製造の歴史。蔵のまち「半田」をめぐるコース(約9km)	174名
第4回	2010/10/10(日)	陶土が採れたから瀬戸物が栄えた。やきものまち「瀬戸」をめぐるコース(約6.8km)	109名
第5回	2010/11/13(土)	名古屋の物流の大動脈「堀川」沿いの産業遺産をめぐる名古屋城へ歩くコース(約8.7km)	112名
第6回	2011/10/8(土)	抹茶日本一の町の茶畑&工場見学と歴史街道の「西尾」コース(約8km)	157名
第7回	2011/11/12(土)	“清須越”逆ルートと美濃路をたどり、ビール工場へ向かう「清須」コース(約9km)	261名
第8回	2012/11/11(日)	稲置街道をたどり、「川」の遺産と「卸売市場」を見て歩く「豊山」コース(約10km)	129名
第9回	2012/11/24(土)	酒蔵、鉢花、漬物…。磁場産品の現場と歴史&街道観光の「蟹江」コース(約10km)	123名
第10回	2013/6/29(土)	産業遺産&四観音道をたどってビール工場へ「昭和区～守山区」コース(約9km)	389名
第11回	2013/11/16(土)	名古屋港近代産業遺産と街(海)道めぐり、リニア・鉄道館へ「名古屋港」コース(約9km)	299名
第12回	2014/6/14(土)	八事山興正寺から60周年のテレビ塔へ飯田街道を歩くコース(約8km)	381名
第13回	2014/11/16(日)	「家康公400年祭」前年の岡崎へ！歴史と地場伝統産業の旧東海道を歩くコース(約7.5km)	630名
第14回	2015/6/7(日)	近代産業の歩みを伝える“文化のみち”から街道沿いの酒蔵へコース(約8km)	673名
第15回	2015/10/17(土)	吉浜人形&高浜瓦づくりと菊の香りコース(約8.5km)	273名
第16回	2016/6/4(土)	名古屋の産業を支えたものづくりの歴史をめぐる名古屋市西部コース(約10km)	461名
第17回	2016/12/3(土)	豊橋の地場産業と“食と農”のものづくりをめぐるコース(約10km)	404名
第18回	2017/6/17(土)	「日本遺産」日本六古窯の常滑焼から、りんくうエリアの大型商業施設をめぐるコース(約9km)	617名
第19回	2017/10/1(日)	「新旧の“絞り”の技、現代のものづくり現場めぐり、山車まつりへ」(約8.5km)	699名
第20回	2018/5/27(日)	「名古屋伝統のモノづくりと城下町の歴史・文化に触れる」中区コース(約8km)	505名
第21回	2018/11/18(日)	日進のものづくり魅力再発見！工房や企業ミュージアム、市民まつりをめぐるコース(約8km)	232名
第22回	2019/5/25(土)	城下町の伝統工芸や山車まつり、円頓寺界限をめぐる西区コース(約8km)	504名
第23回	2019/10/6(日)	津島のものづくりと尾張津島秋まつりをめぐるコース(約9.5km)	258名
第24回	2020 開催予定	のこぎり屋根が残る尾張一宮の繊維産業やいちのみや食ブランドをめぐるコース(約10.9km)	

提 言

日本観光の再活性化をめざして 「“新”日本観光」の展開

須 田 寛

(全国産業観光推進協議会会長)

新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、観光は内外共に、深刻な影響を受けつつある。すなわち、国際観光は激減が続き、国内観光についても各地のイベント等の自粛要請、さらには外出、移動などの自粛が求められる地域も多く、国内各観光地はかつてない試練に直面している。

しかし、観光が低調な現在こそ、事態収束後の再活性化を目指して今後の観光振興(施策)の基盤づくりを検討すべき貴重な時でもある。事態収束後の“日本観光”の展開は、従来の観光振興策の延長線上に乗せた単なる復活ではなく、これまでとは異なる新しい観光として、すなわち、「新“日本観光”(「新」ディスカバージャパン)として再出発すべきものとする。

1. 施策の方向

【発地の“多様化”】－“多様な観光”の展開（Ⅰ）－

近年、日本を訪れる外国人客は、その3/4までが東アジアの近隣諸国（中、韓、台、香港など）からの人々である。このため、新型コロナウイルスの影響をとくに強く、また大きく受けることとなった。今後の外国人客誘致にあたっては、様々な国際情勢の急変にも対応すべく安定的需要をめざして発地（国）を”多様化”すること等、さらに幅の広い国際観光を目指す必要がある。同時に低迷している邦人の国内観光もそれぞれの居住地を発地として、全国に幅広く展開すべきは勿論である。

例) 欧米、オセアニア、アフリカ、中南米諸国等からのウェイトも高める。

【着地の“多様化”】－“多様な観光”の展開（Ⅱ）－

内外国人を問わず、国内の着地（目的地）の幅を広げることが必要である。特定季節・特定地域に集中しないよう、国内各地に万遍なく内外観光客を迎える努力を尽くすべきであろう。汎日本観光・即ち、美しい日本を今一度新しい観光の視点でみつめなおす広域観光（新ディスカバージャパン運動の展開等）こそ国内感染症収束とともに直ちに推進すべき重要な着眼点になると考える。

例) 地方空港の活用（定期空路の開発、チャーター機の着陸など）

地方における新幹線網、高速道路網の利活用
旅心に訴える新広域観光キャンペーンの展開

【手法の多様化】 — “多様な観光” の展開（Ⅲ） —

観光資源に接する角度とくに視点を換えることによってその資源ないし資源所在地の新しい魅力を再発見することが出来る。こうした取組みをめざして“新しい観光”手法の提案を行い、観光資源の魅力再開発ないし再発見をはかる必要がある。なお、リピーターが増加していることから、この点はリピーター対策としても緊急の課題である。

例) テーマ別観光の展開（産業観光、街道観光等）

学習観光、行動型観光の展開 等

2. 観光基盤（観光インフラ）の拡充等

上記の考え方にたつて、「“新”日本観光」を展開するにあたっては以下の通り、観光基盤—観光インフラの拡充強化等がその前提となる。

【交通インフラの整備】

二、三次交通（高速交通機関と観光地間、観光地相互間）の整備拡充、ネットワーク強化が必要。特に、供給余力に比して需要の少ない整備新幹線の末端区間の活用、高速道路とくに地方観光道路の活用、地方空港（チャーター便の着発）の活用、およびそれら高速交通機関間の有機的連携、観光客目線に立ったMaaSシステムの構築等

【宿泊インフラ整備】

ホテルから民泊に至るまでの各々の施設整備と宿泊業の新秩序確立による適切かつ円滑な受入体制確立、とくに古い商慣習是正と経営近代化（泊食分離、ルームチャージ制への転換、大部屋の分割個室化など）

【その他】

観光地の物販業等、中小企業のウェイトの高い観光関連業種にあつては企業規模の見直し等による経営近代化に向けた努力が必要。とくに、企業努力と合わせ、人材（後継者等）育成と経営維持への公的支援の充実強化が不可欠。

【情報システム整備】

観光情報の整備発信、就中観光情報システム整備が「“新”日本観光」の基盤となる。検索、予約、決済（発券）までの一貫した総合観光システムの整備やSNSによる情報発信の活用も期待される。

「“新”日本観光」の展開は上記の着眼点を中心に、広く観光するところ（もてなしのこころ）をもって、官民連携による幅広い国民運動（観光キャンペーンを動機とする）として展開、推進する必要がある。現下の苦境を克服し、一日も早い日本観光の再活性化を目指して、各地の観光力を結集してあたる等総合的な新しい観光の基盤づくりに努めることが急務と考える。